

花卷市埋蔵文化財発掘調査報告書 第23集

賃貸住宅建設関連遺跡 発掘調査報告書

平成28年度調査

不動Ⅰ遺跡

2018.3

佐々木 浩

岩手県 花卷市教育委員会

**賃貸住宅建設関連遺跡
発掘調査報告書**

平成28年度調査

不動 I 遺跡

例 言

1. 本書は、平成28（2016）年度に賃貸住宅（アパート2棟）の建設に伴い、佐々木浩氏より記録保存を目的とした発掘調査（報告書作成を含む）業務の依頼を受け、花巻市がこれを受託し、花巻市教育委員会が調査を行った「不動1遺跡（岩手県遺跡コードME36-0040）」の発掘調査報告書である。
2. 調査地点と面積及び調査の実施期間は次のとおりである。
岩手県花巻市不動町二丁目7-1 866.75㎡
野外調査：平成28年9月12日～11月30日
室内整理：平成29年5月8日～平成30年3月16日
3. 発掘調査の主体及び担当者は、次の通りである。
調査主体者：花巻市教育委員会 教育長 佐藤 勝
調査総括者：花巻市教育委員会教育部文化財課 課長 酒井 宗孝
同 埋蔵文化財係長 村田 豊隆（H28年度）
同 埋蔵文化財係長 佐藤 幸泰（H29年度）
調査担当者：橋本 征也（花巻市教育委員会教育部文化財課埋蔵文化財係 上席主任兼学芸員）[主担当]
菊池 賢（花巻市教育委員会教育部文化財課埋蔵文化財係 上席主任兼学芸員）
高橋 純（花巻市総合文化財センター 学芸調査員）
吉田 宗平（花巻市総合文化財センター 学芸調査員）
4. 本書の執筆は酒井・橋本が行った。編集については、縄文時代の遺物包含層出土土器の分類・配列に際し、中村良幸（花巻市総合文化財センター所長）の指導を受けて、橋本・菊池が行った。
5. 本書に掲載の遺物写真は、高橋と吉田が撮影した。
6. 調査および整理作業は、次の方々のご協力を得た。感謝申し上げる。
野外調査：阿部幸藏・伊藤大輔・大野信幸・日下宏明・熊谷幸作・佐々木茂夫
佐藤隆重・佐藤弘・菅原武志・鈴木たよ子・高橋一水・高橋綱記・高橋淳一
立花健治・千田豊・新沼君雄・野木春雄・原田香理・平藤達也・藤井敏明
堀岡まゆみ・増本勇吾・盛川義雄・八重樫鷹明・雷久保克信
室内整理：川井久美子・菅原富貴子
7. 本遺跡の出土遺物及び図面・写真等の発掘調査資料は、花巻市総合文化財センターにて保管している。

目次

例言

| | | |
|-----|--------------|----|
| I | 調査に至る経過 | 1 |
| II | 遺跡の位置と環境 | 1 |
| III | 調査・整理方法と基本層序 | 5 |
| IV | 検出された遺構と出土遺物 | 6 |
| | 【縄文時代の遺構・遺物】 | 6 |
| | (1) 埋設土器遺構 | 6 |
| | (2) 竪穴状遺構 | 8 |
| | (3) 焼土遺構 | 12 |
| | (4) 土坑 | 12 |
| | (5) 遺物包含層 | 12 |
| | 【平安時代の遺構・遺物】 | 14 |
| | 竪穴住居跡 | 14 |
| | 【時期不明の遺構】 | 16 |
| | 【遺構外の出土遺物】 | 18 |
| V | まとめ | 40 |

(挿図)

| | | |
|------|-------------------------|----|
| 第1図 | 遺跡の位置 | 2 |
| 第2図 | 調査区の位置 | 3 |
| 第3図 | 遺跡周辺の地形分類 | 3 |
| 第4図 | 調査区全体図 | 4 |
| 第5図 | 埋設土器遺構(1) | 9 |
| 第6図 | 埋設土器遺構(2) | 10 |
| 第7図 | 竪穴状遺構 | 11 |
| 第8図 | 調査区北半遺構全体図 | 13 |
| 第9図 | 1号竪穴住居跡 | 14 |
| 第10図 | 2号竪穴住居跡(H2調査) | 15 |
| 第11図 | 調査区西半ピット群(H9・10調査区を合成) | 17 |
| 第12図 | 出土遺物(1) 埋設土器 | 20 |
| 第13図 | 出土遺物(2) 埋設土器(ほか遺構内出土土器) | 21 |
| 第14図 | 出土遺物(3) 縄文土器(後期) | 22 |
| 第15図 | 出土遺物(4) 縄文土器(晩期①) | 23 |
| 第16図 | 出土遺物(5) 縄文土器(晩期②) | 24 |
| 第17図 | 出土遺物(6) 縄文土器(晩期③) | 25 |
| 第18図 | 出土遺物(7) 縄文土器(晩期④) | 26 |
| 第19図 | 出土遺物(8) 縄文土器(晩期⑤) | 27 |
| 第20図 | 出土遺物(9) 縄文土器(晩期⑥) | 28 |
| 第21図 | 出土遺物(10) 土製品 | 29 |
| 第22図 | 出土遺物(11) 石器①(割片石器) | 30 |
| 第23図 | 出土遺物(12) 石器②(礫石器) | 31 |
| 第24図 | 出土遺物(13) 石製品 | 32 |
| 第25図 | 出土遺物(14) 古代土器 | 33 |

(表)

| | | |
|----|----------|----|
| 表1 | 柱穴・土坑計測表 | 34 |
| 表2 | 出土遺物観察表 | 34 |

(写真図版)

| | | |
|--------|----------------------|----|
| 写真図版1 | 埋設土器(1)ほか | 41 |
| 写真図版2 | 埋設土器(2)・遺物出土状況 | 42 |
| 写真図版3 | 竪穴状遺構・掘立柱建物跡 | 43 |
| 写真図版4 | 土坑・竪穴住居跡・柱穴群 | 44 |
| 写真図版5 | 出土遺物(1) | 45 |
| | 埋設土器・竪穴状遺構出土土器ほか | 45 |
| 写真図版6 | 出土遺物(2) 遺構外出土土器 | 46 |
| 写真図版7 | 出土遺物(3) 遺構外出土土器 | 47 |
| 写真図版8 | 出土遺物(4) 遺構外出土土器 | 48 |
| 写真図版9 | 出土遺物(5) 遺構外出土土器 | 49 |
| 写真図版10 | 出土遺物(6) 土製品・割片石器 | 50 |
| 写真図版11 | 出土遺物(7) 礫石器・石製品・古代土器 | 51 |

I 調査に至る経過

平成 28 年 5 月 31 日付で、今回の開発行為の施主である佐々木浩氏（以下、届出人）の代理人・大和ハウス工業株式会社岩手支店（以下、代理人）より花巻市教育委員会（以下、市教委）へ賃貸住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘の届出が提出された。開発予定地は、縄文時代及び平安時代の集落跡として周知の遺跡である不動Ⅰ遺跡の範囲内であり、周辺部は東側に隣接する不動Ⅱ遺跡とともに平成 2 年より平成 12 年まで継続して行われた市教委による発掘調査が実施されている。特に平成 7 年より同 12 年の 6 年間に 20 次に及び行われた不動上諏訪地区土地区画整理事業に伴う一連の発掘調査において、縄文時代晩期及び平安時代の遺構・遺物が発見されていることから、今回の開発予定地内においても埋蔵文化財が残存する可能性が極めて高いことが想定された。

市教委では、平成 28 年 6 月 3 日付け 28 花教文第 2-17 号により当該地への試掘調査が必要な旨を代理人を通じて届出人へ通知し、6 月 8 日に試掘調査を実施した。試掘調査は、建物の建設予定地内の南北 2 箇所に一辺 2～3m のトレンチを設定し、遺構・遺物の検出を行った。なお、試掘調査は遺構や遺物が密に分布しているとの想定のもと、重機を使用せず手掘りで行った。この結果、表土直下から縄文時代晩期の土器・石器や古代の土師器・須恵器といった遺物が多く出土し、さらに下層まで掘り下げた部分では遺構（土坑）も検出された。

試掘結果を基に、届出人及び代理人と市教委との間で埋蔵文化財の保護措置に関する協議を行った。届出人からは、開発は計画通り行いたい意向が示され、代理人からは敷地内に表土の巻き取り後、盛土によるかさ上げを行い、遺構等を保護しながら建物基礎を設置する工法案が提示された。なお、同工法では盛土造成に伴って敷地外周への擁壁の設置と、車両進入用スロープ設置の必要性も示された。

このため、市教委では擁壁設置予定部分の試掘調査を 7 月 11 日に実施し、ほぼ全域から遺構・遺物を確認したため、遺物が出土しなかった東側の一部を除く外周擁壁部分及びスロープ部分の全面発掘とそれ以外の箇所（盛土予定部）の表土下までの調査実施が必要との結論に至った。

発掘調査実施にあたり、賃貸住宅の建設であるため、原因者負担の原則により実施した。すなわち、届出人より平成 28 年 8 月 19 日付け文書にて市教委が埋蔵文化財発掘調査の依頼を受けたため、協議を行い調査費用（室内整理費、報告書刊行費を含む）の合意に達したことから、発掘調査受託契約を平成 28 年 9 月 2 日に締結した。

II 遺跡の位置と環境

1 遺跡の立地と地形・地質（第 3 図）

不動Ⅰ遺跡は、花巻市役所の南南西約 1.6km の花巻市不動町二丁目及び諏訪町二丁目地内に所在し、東流して北上川に注ぐ豊沢川下流域右岸の低位段丘北縁に立地する。標高は 84 m 前後で、北側は段丘崖となり、比高差約 9 m で豊沢川の氾濫源に続いている。

周辺の地形は、中川久夫氏（中川他：1963 b）、渡辺満久氏（渡辺：1991）、小岩直人氏（小岩：2001）による研究があり、中位の段丘として村崎野段丘（渡辺：M1 面、小岩：村崎野面）、下位の段丘として金ヶ崎段丘（内上位の面を渡辺：L1 面・小岩：花巻面、下位の面を渡辺：L2 面・小岩：南城面）に区分している。村崎野段丘は、下部に焼石連峰を噴出源とし 4 万年～7 万年前の年代が推定されている村崎野浮石を伴う黒沢尻火山灰に覆われるが、金ヶ崎段丘は更新世の火山灰は載せないとされている。

今回の調査区は、中川氏の金ヶ崎段丘、渡辺氏の L2 面、小岩氏の南城面に相当する。しかし、中川氏が当面の細分化を示唆しているように、南側には比高差約 2 m で一段高い面が広がる他、戦後まもなくの空撮写真では、遺跡の周辺に数段のテラス状の地形が観察される。さらに、平成 25 年度と平成 28 年度に調査した南城地区の上館遺跡は、地形分類上同じ面に立地するが、周囲より約 2 m 高い微高地となり、基盤となる砂礫層の上部に村崎野火山灰と考えられる褐色～明黄褐色土の堆積が確認されている。

なお、これらの地形と遺跡の分布状況には傾向性が認められるが、これについては、より多くの事例の検討が必要であると考えられる。

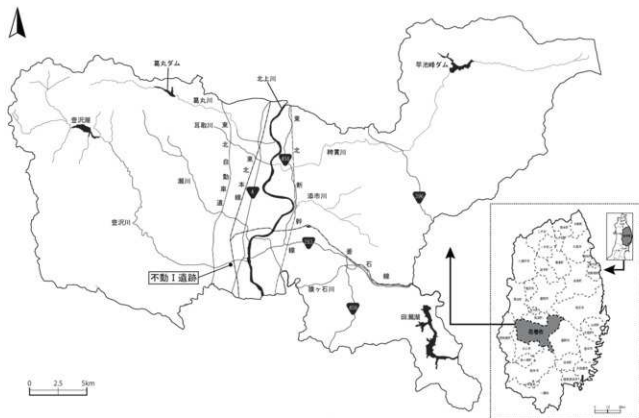
2 周辺の遺跡 (第2図)

花巻市内には平成 29 年現在、1,006 か所の埋蔵文化財包蔵地が岩手県遺跡台帳に登録されており、旧花巻市内には 318 の遺跡がある。また、不動 I 遺跡が所在する花南地区には 30 か所の遺跡が分布するが、以下に主な遺跡を紹介する。

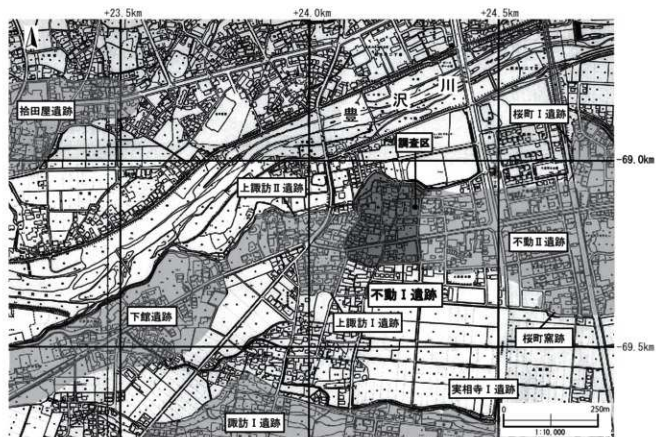
旧石器時代の遺跡では、市内最古の遺跡で 2～3 万年前に遡る可能性を持つ形態の石器が出土した山の神地区の宿内遺跡がある。なお、豊沢川南岸の段丘縁辺には、本遺跡を始めとする縄文時代～古代、中近世までの複合遺跡が連続して立地している。この遺跡群は、平成 7 年度より 12 年度まで市教委が実施した、不動上諏訪地区土地区画整理事業に係る一連の発掘調査により、不動 I・II 遺跡からは縄文時代晩期の墓壇や埋設土器が発見された。また一帯からは、平安時代の住居跡が多数発見され、該期の拠点的な集落跡であったことが明らかになった。

中世には、本遺跡の西に稗貫氏の重臣で豊沢川中～下流域を領した根子氏の一族が流域各所に築いた三館の一つである下館跡（他に根子館〔上館〕・古館〔中館〕）がある。また本遺跡の東側、不動 II・桜町 III 遺跡周辺は、同じく稗貫氏家臣の八反清水氏の居館があったとの伝承が残るが、平成 7 年度の発掘調査では、段丘縁から南東へ伸びる菜研堀跡が検出されており同氏の館跡との関係が窺われる。

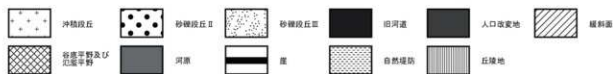
近世の遺跡としては、調査区の南東約 400 m に幕末から明治時代初期にかけて陶磁器やレンガを生産し、短い期間ではあったが盛岡藩の御小納戸支配職人を務めた花巻焼の窯跡がある。また、調査区の西約 500 m は、太田清水寺に通じる清水道と和賀郡岩崎漸畑に繋がる漸畑街道（漸畑みち・馬街道）との分岐点に当たり、元文 5 年（1740）の紀年銘を持つ追分碑が残る。



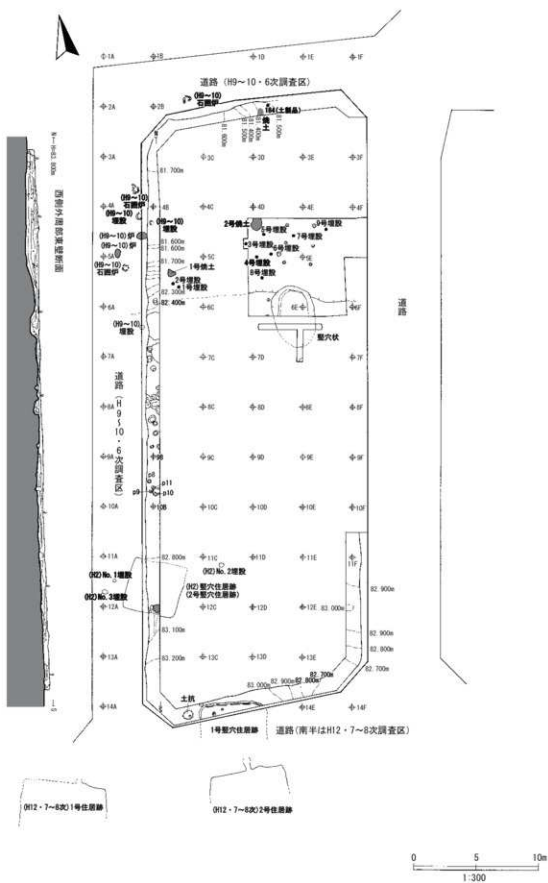
第 1 図 遺跡の位置



第2図 調査区的位置



第3図 遺跡周辺の地形分類



第4図 調査区全体図 (一部に6次 (H9) 調査区及び7・8次 (H12) 調査区を合成)

Ⅲ 調査・整理方法と基本層序

1 調査方法

(1) 調査区及びグリッド設定 (第4図)

開発予定地は、長辺(南北)約48m、短辺(東西)約20mの長方形を呈している。測量及び遺物取り上げの基準とするグリッドは、便宜上調査対象範囲の形状に合わせて設定した。すなわち、上記の長方形の長辺、短辺に平行する軸を設け、これを4m四方に区画するメッシュを設定して北西の端部を原点として南方向には1～14、東方向にはA～Fの番号と記号を付してA1、B2等と呼称した。なお、基準とした軸や点は平面直角座標値に基づくものではなく、任意の設置である。

(2) 調査方法

試掘調査の結果、表土にも遺物が包蔵されることや、下位には大量の遺物を含む層(Ⅱ層)の堆積が確認されたことから、人力によって表土の除去と遺構の検出作業を行った。

擁壁設置部分とスロープ設置部分については、層ごとに遺物の収集と遺構検出、精査、実測を行いながらⅢ層またはⅣ層まで掘り下げた。また、中央部の盛土工法がとられる部分についても、同様に表土とⅡ層を除去し、遺物の収集を行い、Ⅲ層上面までの精査を実施した。

検出された遺構は、当初グリッド名と遺構種別を併せて「6D 堅穴状遺構」等と命名したが、便宜上、整理段階において遺構種別と番号の組み合わせ(1号堅穴住居跡 等)に改めている。遺構の精査にあたっては、堅穴類は4分法、土坑類は2分法を原則として埋土の状態を観察し、重複状況や新旧関係の把握に努めた。

検出された遺構は、トータルステーションによる簡易的な遺り方測量により、平面・断面の各実測図を作成したが、一部平板による測量も併用した。図面の縮尺は1/20を原則としたが、埋設土器等の小規模な遺構は一部1/10、平板での測量は1/100で作成した。

出土遺物の取り上げは、遺構内出土遺物は遺構名と出土層位を、遺構外からの遺物はグリッド名と出土層位を記して取り上げた。

写真撮影は、デジタル一眼レフカメラをメインに工事現場用カメラを補助として、精査の各段階に応じて適宜撮影を行った。

2 室内整理

室内整理では、61×37×15cm(容量34ℓ)のコンテナで50箱分の出土遺物について、洗浄・分類・接合・写真撮影を先行させ、その後実測作業とトレースをそれぞれ行った。遺構図面については、第二原因の作成後これをトレースして図版化し、さらに写真図版を作成した。

3 基本層序 (第4図、第8図東壁)

本調査区における堆積土の状況は、西側外周部の東壁を中心に観察を行い、基本層序とした。

- I層 表土層。10YR3/2黒褐色。草根を多く含む攪乱が多い。土器片を若干含む。層厚10～20cm。
- II層 遺物包含層で、近代～縄文時代までの遺物を含む。特に晩期の土器片を多く含むが、堆積土が厚くなる南半の一部では上下2層に分かれる。
 - II a層 10YR3/3暗褐色。耕作による上層からの攪乱も多い。縄文時代の遺物を多く含む。層厚10～25cm。
 - II b層 10YR2/3黒褐色。II a層より粘性がある、縄文時代の遺物を多く含む。層厚10～20cm。
 - II c層 10YR3/1黒褐色。やや粘性があり、下位はⅣ層への漸移層となる。層厚10～30cm。
- III層 黒色土層で、基本的には遺物を包蔵しない。調査区の北半及び東南隅部分(12E～12F・13E～13F付近)の傾斜地形や凹地形では厚く堆積し、層相により3層に細分される。検出された遺構はすべて本層を掘り込む。
 - III a層 10YR2/2黒褐色。上部には土器片を含むことがある。層厚10～30cm
 - III b層 10YR2/1黒色。やや粘性があり、径5cm以下の小礫を僅かに混入する。層厚10～25cm。
 - III c層 10YR3/1黒褐色。やや粘性があり、下位はⅣ層への漸移層となる。層厚10～30cm。
- IV層 10YR4/3にぶい黄褐色 粘性を持つシルト層で固くしめる。層厚不明。

断面の観察によれば、グリッド東西軸の5ライン以北では主な遺構はⅢ層上面よりの掘り込みが確認できたが、一方の6ライン以南ではⅢ層の堆積が薄く、または後世の造成等により失われているため、Ⅳ層が主な遺構の検出面となっている。(※本文中の上層記号部分では、本層を便宜上「地山」と標記している。)

IV. 検出された遺構と出土遺物

今次調査で検出した遺構は、縄文時代の埋設土器遺構9基・堅穴状遺構1棟・土坑1基・焼土遺構3基・全域に広がる遺物包含層、平安時代の堅穴住居跡2棟(うち1棟は平成2年度に調査済)、時期不明の掘立柱建物跡1棟、さらに時期不明(近世以降か)の柱穴群1ヶ所ほかである。

出土遺物は縄文土器が殆んどであり、他に石器類や古代土器、陶磁器類を若干出土している。総量は中コンテナ(容量34ℓ)で50箱分程出土しており、多数を占めるのは遺物包含層より出土の縄文土器片である。

【縄文時代の遺構・遺物】

(1) 埋設土器遺構

調査区北半の5Bグリッド及び4C～4E・5Dグリッド付近に位置し、計9基を検出している。

1号埋設土器(遺構:第5図・写真図版1、遺物:第12図・写真図版5)

【位置・検出状況】 調査区北半西側の5Bグリッド北西付近に位置し、Ⅲ層上面で検出したものであるが、隣接する2号埋設土器の検出状況からみて上層のⅡ層から掘り込まれた可能性がある。遺構の重複は見られない。

【形状・規模】 直径30～35cm前後で断続的に3/4程まる土器片の範囲として検出され、平面の観察では明確な掘り方は確認されなかった。断面の観察では、深さ16～18cm程の土器本体とほぼ同規模の掘え穴を伴うものであり、底面はⅣ層(下位の礫層)を若干掘り込むものである。

【埋土・堆積状況】 土器内部にはA層(粘性のある黒褐色土)が堆積し、底面近くには径10cm以下の礫を若干含んでいる。

【出土遺物】 1は粗製の深鉢であり、口縁部～胴部上半は欠損している。

【時期】 縄文時代晩期の遺構とみられる。

2号埋設土器(遺構:第5図・写真図版1、遺物:第12図・写真図版5)

【位置・検出状況】 調査区北半西側の5Bグリッド北西付近に位置し、Ⅱ層中で検出したものである。遺構の重複はみられないが、南東に1号埋設土器、さらに北側に1号焼土と同一検出面上でそれぞれ隣接している。

【形状・規模】 直径38cm前後で断続的に3/4程まる土器片の範囲として検出され、平面の観察では明確な掘り方は確認されなかった。断面の観察では、深さ26～28cm程の土器本体とほぼ同規模の掘え穴を伴うもので、底面はⅣ層上面となっている。

【埋土・堆積状況】 土器内部にはA層(粘性のある黒褐色土)が堆積し、土器片が混入している。

【出土遺物】 2はほぼ完形の粗製深鉢であり、口縁部は直上し、底部に穿孔箇所が一つある。

【時期】 縄文時代晩期の遺構とみられる。

3号埋設土器(遺構:第5図・写真図版1、遺物:第12図・写真図版5)

【位置・検出状況】 調査区北半の4Cグリッド南東付近に位置する。Ⅲ層上面で検出したものであるが、断面の観察によるとⅡ層上面からの掘り込みが確認できる。遺構の重複は見られないが、南側に柱穴状のp19、及び北側にピット(埋設土器の掘え穴か)とそれぞれ隣接している。

【形状・規模】 直径37cm前後で断続的に半周以上する土器片の範囲として検出され、平面の観察では明確な掘り方は確認されなかった。断面の観察では、直径はほぼ同じ規模であるが、深さは35cm前後の土器残存高(20～24cm程)より深い掘え穴を伴うもので、底面は黒色土中(Ⅲb層中位)となる。

【埋土・堆積状況】 土器内部にはA層(しまり粘性ともある黒褐色土)が堆積している。

【出土遺物】 3は完形の粗製深鉢であり、外面はRL斜位の縄文施文により縦縞状の地文となる。また、外面には胴部下端から器高10cm前後まで、使用時に火熱を受けたとみられる暗赤褐色化した範囲が観察される。

【時期】 縄文時代晩期の遺構とみられる。

4号埋設土器（遺構：第5図・写真図版1・2、遺物：第12図・写真図版5）

〔位置・検出状況〕調査区北半の4Dグリッド西南隅～5Dグリッド西北隅付近に位置する。Ⅲ層上位で検出したものであり、遺構の重複は見られない。

〔形状・規模〕直径42cm前後で断続的に2/3程まわる土器片の範囲として検出され、土器内部の東寄り及びやや北寄りの検出面上には火熱を受けた扁平な川原石（一辺20cm×厚さ5～8cm内外）が2個載っていた。平面の観察では、明らかな掘り方は確認されなかった。断面の観察では、直径45cm・深さ36cm程の土器の規模より若干大きめの据え穴を伴うもので、底面は黒色土中（Ⅲb層中位）となる。

〔埋土・堆積状況〕土器内部にはA層（周囲のⅢa・Ⅲb層に近似する黒色土）、及び土器内面際にB層（粘性が強く、しまる黒褐色土）がそれぞれ堆積している。

〔出土遺物〕4は完形の粗製深鉢であり、口縁部はやや内湾気味に直上する。外面の胴部下端から器高20cm前後まで、暗白黄～暗赤褐色を呈する使用時のものとみられる被熱痕跡が観察され、一方で内面の同位置にもドーナツ状に炭化物が付着する範囲（おこげ）が観察される。

〔時期〕縄文時代晩期の遺構とみられる。

5号埋設土器（遺構：第6図・写真図版1・2、遺物：第12図・写真図版5）

〔位置・検出状況〕調査区北半の4Dグリッド西半付近に位置する。Ⅲ層上位で検出したものであり、遺構の重複は見られない。

〔形状・規模〕直径35cm前後で断続的に半周程まわる土器片の範囲として検出され、土器内部の検出面上には扁平な川原石（一辺20cm×厚さ10cm内外）が1個載っていた。平面の観察では、明らかな掘り方は確認されなかった。断面の観察では、深さ12cm程の土器とほぼ同じ規模もしくはやや大きめの据え穴を伴うもので、底面は黒色土中（Ⅲb層上面）となる。

〔埋土・堆積状況〕土器内部には、焼土主体のA層（しまりの弱い暗赤褐色土）を堆積する。

〔出土遺物〕5は粗製の深鉢胴部片であり、下端は部分的に摩耗し意図的に欠かされている様である。

〔時期〕縄文時代晩期の遺構とみられる。

6号埋設土器（遺構：第6図・写真図版1、遺物：第12図・写真図版5）

〔位置・検出状況〕調査区北半の4Dグリッド南端中央付近に位置する。Ⅲ層上位で検出したものであり、遺構の重複は見られない。

〔形状・規模〕直径30cm前後で断続的に半周程まわる土器片の範囲として検出されたが、あまり残りが良くない。平面の観察では、明らかな掘り方は確認されなかった。断面の観察では、深さ16cm以上の土器とほぼ同じ規模もしくはやや大きめの据え穴を伴うもので、底面は黒色土中（Ⅲb層上面）となる。

〔埋土・堆積状況〕土器内部には、A層（土器片を若干含み、ややしまる黒褐色土）を堆積する。

〔出土遺物〕6は粗製深鉢の口縁～胴部上半片である。

〔時期〕縄文時代晩期の遺構とみられる。

7号埋設土器（遺構：第6図・写真図版2、遺物：第13図・写真図版5）

〔位置・検出状況〕調査区北半の4Dグリッド東半付近に位置する。Ⅱ層中位で検出したものであり、遺構の重複は見られない。

〔形状・規模〕直径40cm前後で断続的に半周程まわる土器片の範囲として検出された。平面の観察では、明らかな掘り方は確認されなかった。断面の観察では、深さ35cm程の土器とほぼ同じ規模もしくはやや大きめの据え穴を伴うもので、底面は黒色土中（Ⅲb層中位）となる。

〔埋土・堆積状況〕土器内部には、A層（土器片や炭粒を含み、しまる黒褐色土）を堆積する。

〔出土遺物〕7はほぼ完形の粗製深鉢であり、RL斜位の縄文施文により縦縞状の地文となる。

〔時期〕縄文時代晩期の遺構とみられる。

8号埋設土器（遺構：第6図・写真図版2、遺物：第13図・写真図版5）

〔位置・検出状況〕調査区北半の5Dグリッド西半付近に位置する。Ⅲ層上位で検出したものであり、遺構の重複は見られない。

〔形状・規模〕直径40cm前後で断続的に2/3周程まわる土器片の範囲として検出された。平面の観察では、明らかな掘り方は確認されなかった。断面の観察では、深さ22cm程の土器とほぼ同じ規模の掘え穴を伴うものとみられ、底面は黒色土中（Ⅲ層中位）となる。

〔埋土・堆積状況〕土器内部には、A層（Ⅲ層起源の黒色土）を堆積する。

〔出土遺物〕8はほぼ定形の粗製深鉢であり、断面の輪積み痕が比較的明瞭に観察される。

〔時期〕縄文時代晩期の遺構とみられる。

9号埋設土器（遺構：第6図・写真図版2、遺物：第13図・写真図版5）

〔位置・検出状況〕調査区北半東側の4Eグリッド北半中央付近に位置する。Ⅱ層上位で検出したものであり、遺構の重複は見られない。

〔形状・規模〕直径25cm前後で断続的に一周する土器片の範囲として検出された。なお、北隣には扁平な川原石（一辺15cm内外）1個があり、元々は検出面上の土器内部に載っていた可能性がある。平面の観察では、明らかな掘り方は確認されなかった。断面の観察では、深さ26cm程の土器とほぼ同じ規模もしくははやや大きめの掘え穴を伴うもので、底面は黒色土中（Ⅲ層中位）となる。

〔埋土・堆積状況〕土器内部には、A層（土器片を含み、しまる黒褐色土）を堆積する。

〔出土遺物〕9はほぼ定形の粗製深鉢で、口縁部は内湾気味となる。外面はLR斜位の縄文施文により横綫状の施文となる。また、外面の胴部下端から器高3cm前後から同15cm前後までドーナツ状に、使用時に火熱を受け変色（赤褐～暗赤褐色）した範囲が観察される。

〔時期〕縄文時代晩期の遺構とみられる。

（2）堅穴状遺構（遺構：第7・8図・写真図版3、遺物：第13・21～23図・写真図版5・10・11）

〔位置・検出状況〕調査区北半の5D・5Eグリッド南半～6Dグリッド東半・6Eグリッド西半付近に位置する。南半1/2程は盛土保存部分にあたるために、遺構内の精査は行わず範囲の検出のみに留めた。

Ⅳ層上面で検出したものであるが、断面の観察によるとⅢ層上面からの掘り込みが確認できる。遺構の重複は見られない。

〔形状・規模〕南北方向に長軸をもつ東西3.4m・南北5.0m程の楕円形を呈する。壁面の状況は、部分的に底面近くに緩い段差をもつが、全体的には明確に立ち上がる。底面は平坦で、全体に貼床が施される。掘り込み面から底面までの深さは45～50cm、貼床上面までの深さは40cm前後を測る。南半が完掘に及ばなかったため断定はできないが、炉跡は見つかっていない。

〔埋土・堆積状況〕A・B層及びC層（貼床層）に分かれ、また下位のB層はさらに3層に細分される。A層は土器片を多く混入し炭粒を若干含む黒褐色土、B層はしまり粘性ともあり土器片を含む黒褐～黒色土である。なお、C層は層厚5～10cm前後で、粘性が強く非常に固くしまり、土器片・石器や炭粒～ブロックまた焼土粒～ブロックを含む黒色土である。

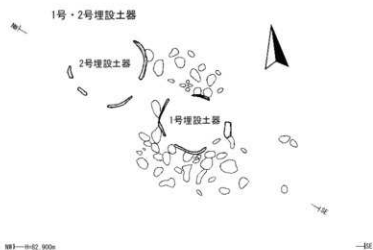
〔出土遺物〕縄文土器10～18・20・21、土製品183・186、石器195・196・217が出土している。縄文土器は、10～12・20・21が縄文時代後期とみられる深鉢で、外面に倒卵状の磨消縄文や網目状撫糸文が施文される。13～18は、縄文時代晩期（大河B・BC・C1・C2式）の注口土器・浅鉢・壺・深鉢・鉢であり、雲形文や羊歯状文、平行文などが描かれる精製もしくは半精製土器である。なお出土量としては、晩期土器の割合が卓越している。

土製品は、小型で中空の亀形土製品（183）及び穿孔のある土製円盤（186）がある。

石器は石鏃が2点（195・196）、また217は棒状を呈する磨製石斧で、蛤刃形の刃部となる可能性がある。

他に、図示しなかったが、南西部の床面近くより朱彩皮膜の細片（塗漆木製品か）が1点出土している。

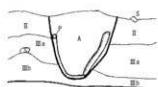
〔時期〕底面の一括出土遺物がないため断定できないものの、埋土中に縄文時代後期～晩期の遺物が含まれること、特に晩期の遺物が多く出土していることから、縄文時代晩期頃の遺構とみられる。



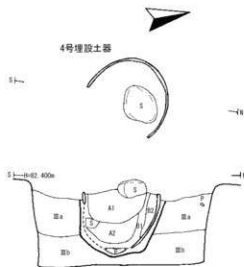
(1号埋設土器)
 A1層 10YR2/2 黒褐色 しまる 粘性あり
 A2層 10YR2/3 黒褐色 しまる 粘性あり
 底面近くに小礫若干 (径 10cm以下)

(2号埋設土器)
 A1層 10YR2/2 黒褐色 しまる 粘性あり
 土器片道 地山粒若干混
 A2層 10YR2/3 黒褐色 しまる 粘性あり
 土器片道

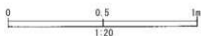
IIIa層 10YR2/2 黒褐色 しまる 粘性あり
 IIIb層 10YR1/1 黒褐色 ややしまる 粘性あり
 IV層 上位の粘質シルト層が欠落し、
 下位の礫層が露出。



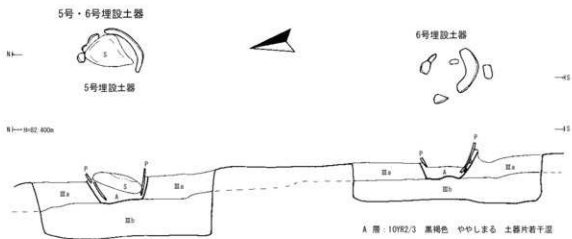
A層 10YR2/2 黒褐色 しまる 粘性あり
 地山粒~ブロック若干混
 植物根多く混



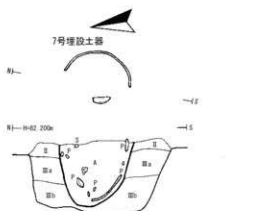
A1層 検出面上の北寄りに礫あり IIIa層に近似
 A2層 IIIb層に近似
 IIIb層 10YR2/2 黒褐色 しまる 粘性強い 地山粒~ブロック 30%混
 IIIc層 10YR2/1 黒色 粘性強い 固くしまる 地山粒~ブロック若干混



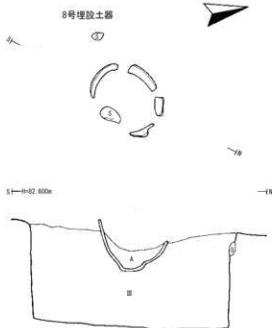
第5図 埋設土器遺構 (1)



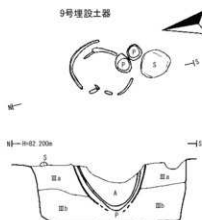
A層: 2.5YR3/3 暗赤褐色 しまり強い 焼土粒~ブロック40%混



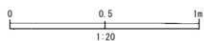
A層: 10YR3/2 黒褐色 しまる 粘性あり 小礫若干混
炭粒若干混 地山粒・土器片含む



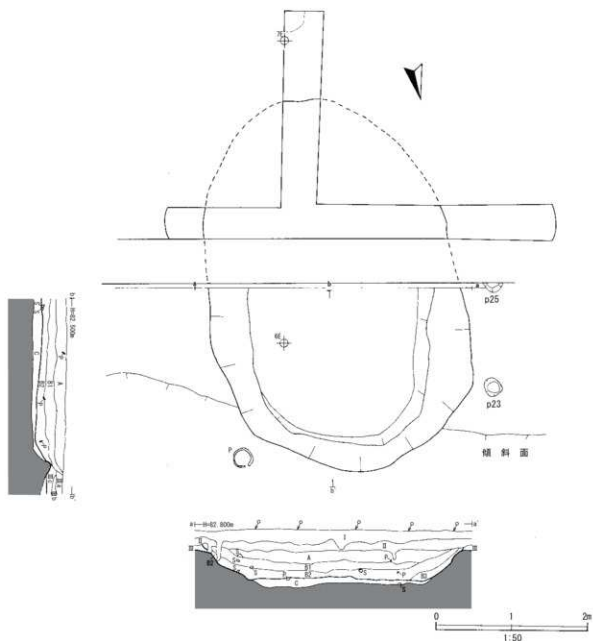
A層: 7.5YR1.7/1 黒色 しまり強い 粘性なし
B層: 7.5YR2/2 黒褐色 しまり強い 粘性ややあり



A層: 10YR3/2 黒褐色 しまる 粘性ややあり 土器片含む



第6図 埋設土器遺構(2)



- A 層 : 10YR3/2 黒褐色 しまる 粘性ややあり 土器片多く混 炭粒若干混
 地山粒~ブロック 10%混
- B1 層 : 10YR3/2 黒褐色 固くしまる 粘性あり 土器片混 炭粒・小礫若干混
 地山粒~ブロック 20%混
- B2 層 : 10YR2/1 黒色 しまる 粘性あり 土器片多く混 炭粒若干
 地山粒~ブロック 20%~30%混 小礫若干
- B3 層 : 10YR1/1 黒色 しまる 粘性あり 地山粒~ブロック 30%~40%混
 西壁隈のみ堆積
- C 層 : 10YR2/1 黒色 非常に固くしまる 粘性強い 地山粒~ブロック 30%混
 炭粒~ブロック・微土粒~ブロック若干混 土器片・石礫多く混

第7図 竪穴状遺構

(3) 焼土遺構

調査区北半の4Dグリッド及び5Bグリッド付近で2基、また部分検出につき掲載を割愛したが、北端の2Dグリッド北西部でもⅡ層下位で東西30cm・南北40cm以上の不整範囲に厚さ4～6cm前後で堆積する焼土層を検出しており、これを含めると計3基を検出している。

1号焼土遺構 (遺構：第4図)

【位置・検出状況】調査区北半の5Bグリッド北西半付近に位置する。Ⅲ層上位(ⅢA層中位)で検出したものであり、遺構の重複は見られない。

【形状・規模】東西60cm以上・南北50cmの不整な範囲に広がる焼土で、2～5cmの層厚で堆積している。

【埋土・堆積状況】A層は、赤褐色を呈する焼土層でレンズ状に堆積する。

【出土遺物】遺物は出土していない。

【時期】出土遺物がないため詳細は不明であるが、検出状況からみて縄文時代(晩期か)の遺構であろう。

2号焼土遺構 (遺構：第4・8図、遺物：第21図・写真図版10)

【位置・検出状況】調査区北半の4Dグリッド北西付近に位置する。Ⅱ層中位で検出したものであり、遺構の重複は見られない。

【形状・規模】東西85cm・南北100cm前後の不整な範囲に広がる焼土で、厚さ3～10cm程の厚さで堆積している。

【埋土・堆積状況】A層は焼土層でレンズ状に堆積するものであり、しまり粘性ともある赤褐色土である。

【出土遺物】有孔の土製円盤(188)が出土している。また、遺構外ではあるが焼土下のⅢ層からは中空の亀形土製品(182)が1点出土しており、内部に小さな粘土粒(小石?)を含むもので用途に関わるものの可能性がある。

【時期】出土遺物が少ないが、縄文時代(晩期か)の遺構であろう。

(4) 土坑 (遺構：第4・9図、写真図版4)

【位置・検出状況】調査区南半の14Bグリッド北東寄りに位置する。Ⅳ層上面で検出したものであるが、攪乱により掘込面は失われている。遺構の重複はみられないが、西側の一部を攪乱に切られている。

【形状・規模】平面形は開口部径70～80cm程の円形であり、断面形は底面に向かい緩くオーバーハングするフラコ状を呈し、底面径は開口部径よりやや膨らむ径80cm内外、検出面からの深さは28～33cm程を測る。底面はほぼ平坦となり、床上やや東寄りに副穴となる小ピット(径15cm・底面からの深さ5cm前後)を有し、また東南壁寄り床面には扁平な川原石(一辺25cm・厚さ10cm程)が検出されている。

【埋土・堆積状況】埋土はA・B層に分かれ、うちA層は上下2層に細分される。A層は黒褐色土、B層は黒色土となる。

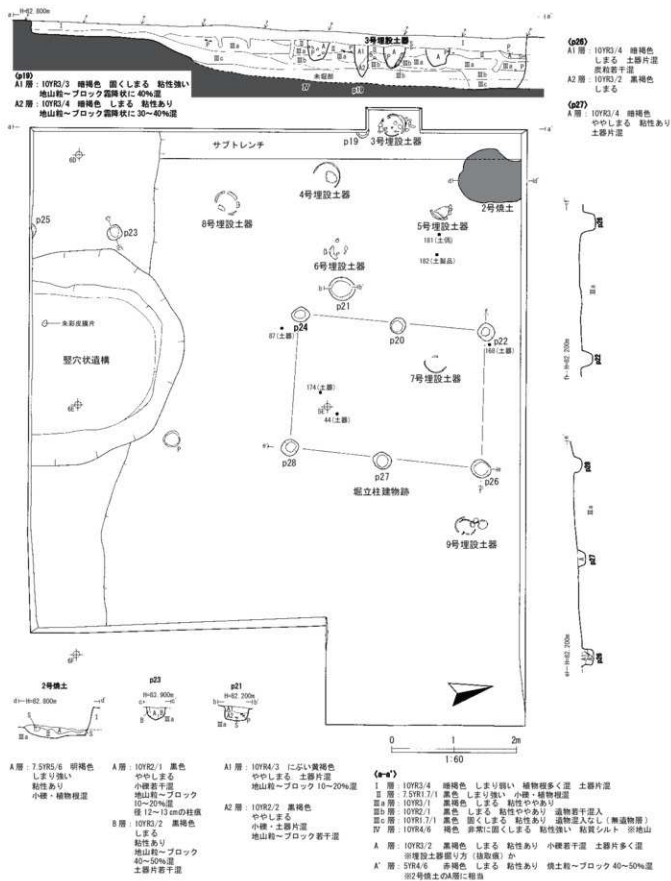
【出土遺物】遺物は出土していない。

【時期】出土遺物がないため不明であるが、形状からみて縄文時代(晩期か)の遺構とみられる。

(5) 遺物包含層 (遺構：第4・8図・写真図版1、遺物：第14～24図・写真図版5～11)

調査区全域にわたって、表土(Ⅰ層)及び遺物包含層(Ⅱ層)より多くの縄文時代～古代にかけての土器片(縄文土器が主体)を出土している。今回調査における完掘箇所は、スロープ設置予定部分及び外周部分のみで、多くのグリッドはⅠ～Ⅱ層のみの部分的調査であったためあくまで暫定的なデータではあるが、質量的には1グリッド(4m×4m)あたり0.3kg～6kg前後の出土量があり、平均すると1グリッドあたり1～3kg前後となる箇所が多く、また5ライン以北の北向き緩斜面部では地形的な要因も加わり出土量がより増える傾向にあった。今回の調査で最も土器の出土量が多かった箇所は、完掘したスロープ設置予定部分であり、4D・5D・5Eグリッドは平均20kg前後、4Eグリッドに至っては1グリッドで65kgと突出した出土量となっている。このように、調査区内の土器出土量を概観すると、北側の緩斜面部を中心に周辺一帯に密度の濃い縄文時代後期～晩期にかけて(縄文時代晩期が主体)の遺物包含層が形成されていることがわかる。

なお、包含層出土の個別遺物については、【遺構外の出土遺物】の項にてその概要を述べることにする。



第8図 調査区北半遺構全体図

【平安時代の遺構・遺物】

竪穴住居跡

調査区南半において古代に属する2棟の竪穴住居跡を検出しており、うち北側の1棟(2号竪穴住居跡)は平成2年度に調査済みのものを再度確認したものである。

1号竪穴住居跡(遺構:第9図・写真図版4、遺物:第13・25図・写真図版5・11)

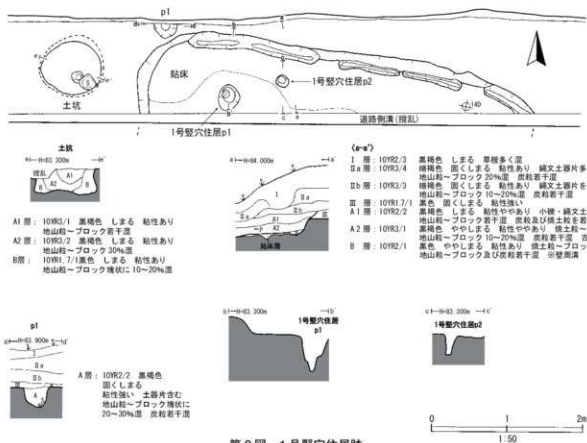
〔位置・検出状況〕 調査区南半の14Cグリッド北半付近に位置し、南半の大部分は調査区外となる。IV層上面で検出しているが、断面の観察によればⅢ層上面からの掘り込みが確認できる。遺構の重複は見られないが、南端の調査区境付近を道路側溝に伴う掘削により切られている。

〔形状・規模〕 大半が調査区外となるために全体形は不明であるが、概ね東西5.2～5.3m前後の隅丸方形とみられ、北壁を除くいずれかの壁にカマドがつくものと推定される。検出面からの深さは30cm前後となり、IV層(地山)を20cm程掘り込んでいる。床面は平坦であり、北壁際に周溝が断続的に巡るほか、小ピットを2基確認している。小ピットの規模は、直径20～30cm・床面からの深さ28～45cmで、うちp1は掘り方内に径10cm前後となる柱痕様の掘り込みを有するもので、主柱穴であろう。また、壁に沿った床面には焼土を多く含む貼床(厚層2～3cm程)が施されている。

〔埋土・堆積状況〕 A層は炭粒や焼土粒～ブロックを含む黒褐色土で、上下2層に細分され、上層には流れ込みとみられる縄文土器片、下層には古代土器片をそれぞれ含んでいる。周溝埋土(B層)は、焼土粒～ブロックを含む黒色土となる。なお、埋土中には炭化材等は確認できなかった。

〔出土遺物〕 埋土内より土師器杯(236～239)が出土しており、いずれもロクロ使用、底部回転糸切のものである。うち、239は内黒処理が施される。他に、流れ込みとみられる縄文時代晩期の土器(19)が出土している。

〔時期〕 埋土中の出土遺物から、平安時代の遺構とみられる。



第9図 1号竪穴住居跡

2号竪穴住居跡（遺構：第10図・写真図版4、遺物：第25図・写真図版11）

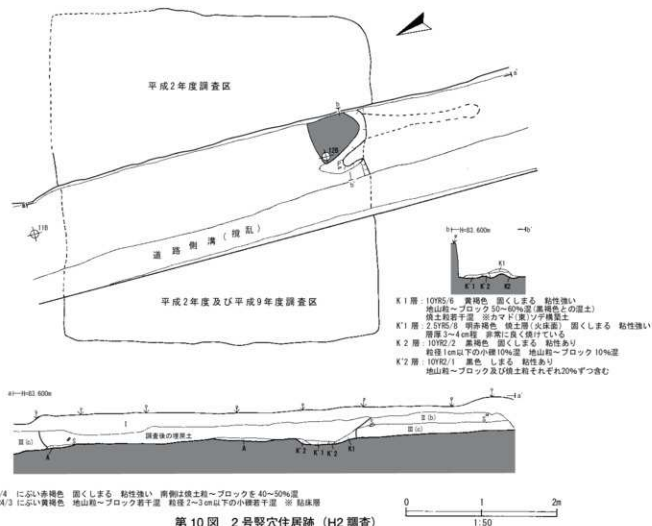
〔位置・検出状況〕調査区南半の11Aグリッド東半～11Bグリッド西半付近に位置し、東西壁の軸方向は約28°東傾する。Ⅳ層上面で住居に伴うカマド袖及び火床面（平成2年度調査）を検出しており、東壁断面の観察によればⅢ層上面からの掘り込みが確認でき、これは以前の調査成果とも一致する。遺構の重複は見られないが、西端の調査区境付近を道路側溝に伴う掘削により切られている。

〔形状・規模〕平成2年度の調査成果により、平面形は一辺4m前後の正方形を呈すること、カマドは南壁東寄りに構築され、壁外に煙道（幅30cm・長さ1.4m）が掘り込まれていること等がわかっている。床面はⅣ層（地山）上面をそのまま利用し平坦となるため、平面上で明確な壁の段差は確認できなかったが、断面の観察によれば検出面（Ⅲ層上面）から床面まで深さ20cm程を測る。同様に、平成2年度に検出済みの煙道に関しても面的には確認できなかった。検出されたカマドの西側袖は、住居内に長さ60cm・幅30cm・高さ5～10cm程が残存し、一方の東側袖は大部分が調査区外となっている。この両袖に囲まれた部分で、カマド火床面（東西60cm以上・南北68cm程）を検出している。床面にピットは確認されず、また以前の調査で確認されていた貼床はその際に大半は除去されたようであり、今回は部分的に確認されたのみである。

〔埋土・堆積状況〕埋土状況は平成2年度調査後の埋め戻し土が確認されたのみであるが、前回の調査時に不明であったカマド袖及び火床面の構築層について今回精査を実施している。カマド袖は粘性が強く固くしめる地山粒～ブロック主体の黄褐色～黒褐色土（K層）で構築され、2層に細分される。一方、火床面は5cm前後の肌状に浅い地葉を行った後で、しまり粘性ともある黒色土（K'層）を張ったもので、やはり2層に細分され、上位（K'1層）は火熱を受け焼土化し明赤褐色を呈している。

〔出土遺物〕既に調査済みの遺構につき遺物はほとんどないが、わずかにロクロ使用で内黒処理される土師器杯(240)が出土した。

〔時期〕平成2年度調査時の出土遺物から、平安時代（10世紀代）の遺構とみられる。（※花巻市教育委員会刊「平成2年度 花巻市内遺跡詳細分布調査報告書-花巻地区-」参照）



第10図 2号竪穴住居跡（H2調査）

【時期不明の遺構】

ここでは、所属時期が不明確な遺構について述べることにする。

掘立柱建物跡（遺構：第8図・写真図版3）

【位置・検出状況】調査区北半の4Dグリッド東半及び4Eグリッド西半付近に位置する。Ⅲ層上位で検出したもので、南北2間・東西1間（東西1.9m・南北2.5m）の範囲に6基の柱穴状ピットが検出された。ただし、南北の間数については、北側調査区外へのびる可能性もあり定かではない。

【形状・規模】個々の柱穴状ピットの規模は直径25～30cm・深さ10～20cmで、柱痕跡をもつものは確認されなかった。柱間距離は南北が1.2～1.3m、東西が1.9mを測る。

【埋土・堆積状況】柱穴状ピットの埋土は、土器片や炭粒を混入する暗褐色～黒褐色土である。なお、遺構の掘り込み面に関しては、前述の深さや埋土の状況からみて、上位のⅡ層からなされている可能性がある。

【出土遺物】小片のために図示していないが、柱穴内より縄文土器片が数点出土している。

【時期】縄文時代の土器片が出土しているが、いずれも磨滅した小片であり時期は不明である。これらの土器片は流れ込みによる混入の可能性があるが、柱穴の深さも総じて浅く、かなり上層より掘り込まれた様相を呈しているために、本遺構は後世の建物跡である可能性が高い。

柱穴群（遺構：第11図・写真図版4）

【位置・検出状況】調査区西半の6A・6B～8A・8Bグリッド付近に位置する柱穴状のピット群で、約20基程が確認された。Ⅳ層上面で検出したものであるが、南北断面（東壁）の観察によればp14等のようにⅡ層上面からの掘り込みが複数箇所で見られている。

西隣の平成9・10年度調査区（現在の道路部分）では、東西棟とみられる江戸時代の掘立柱建物跡1棟（東西3m以上・南北6.5m程か、東西1間以上・南北3間（南側1間は庇か））及び柱穴群が検出されている。今回の調査区においても同様の範囲に柱穴群が集中して見つかり、明確な柱穴配置は認められないため推定ではあるが、平成9・10年度調査の2区p21と今回調査のp3付近、さらに今回調査p17・p13・p14付近等に掘立柱建物跡もしくは柱列跡が所在する可能性が指摘できそうである。

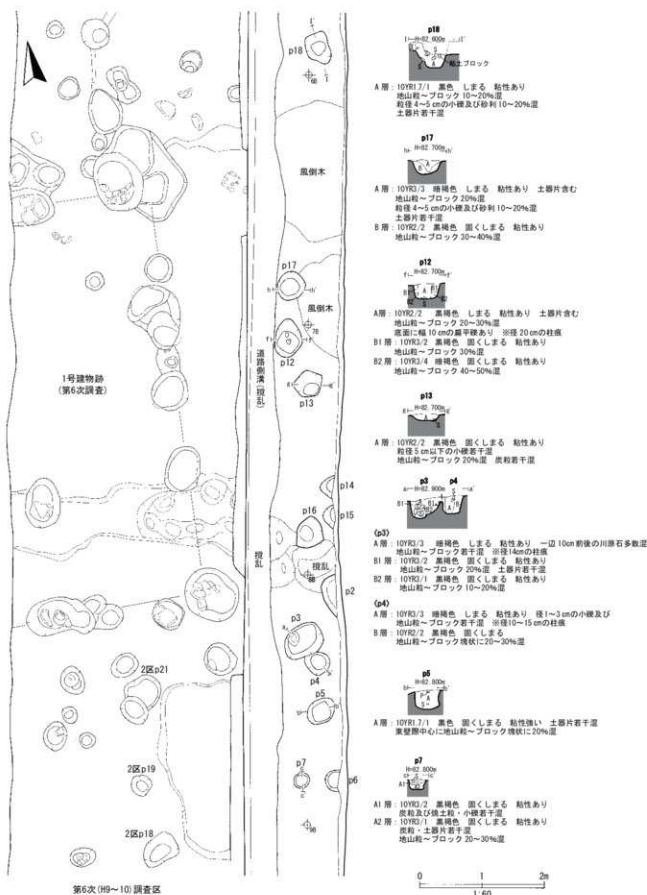
遺構の重複は、p3とp4が重複するものである。

【形状・規模】柱穴状ピットの規模は直径30～50cm前後・深さ10～30cm程で、うちp3・p4、p12のように直径10～15cm前後の柱痕跡（A層）を残すものもみられる。

【埋土・堆積状況】A層は土器片を若干含む黒褐色主体土、根固めのB層はⅣ層起源の粒子～ブロックを含み固くしまる暗褐色～黒褐色土となるものが多い。

【出土遺物】遺物は出土していない。

【時期】出土遺物がないため詳細は不明である。しかしながら、平成9・10年度調査区を含む西側隣接地周辺から今回の調査区周辺にかけて掘立柱建物跡等の所在が推定されていることから、江戸時代以降の遺構であろう。



第 11 図 調査区西半ピット群 (H9・10 調査区を合成)

【遺構外の出土遺物】(第14～25図、写真図版5～11)

調査区全域にわたってⅠ～Ⅱ層より、縄文～古代にかけての大量の土器片(縄文土器がほとんど)、少量の石器及び石製品・土製品、陶磁器等を出土している。掲載にあたっては、以下に述べる基準により選別を行い、掲載することとした。遺構外出土遺物の大部分を占める縄文土器に関しては、一括出土等により完形及び半完形のものや文様帯のある精製・半精製土器(破片を含む)を中心に選別を行い、また粗製土器であっても器形や施文に特徴のあるものは選別し掲載した。掲載順については縄文後期⇒晩期とし、多くを占める晩期については大きく精製・半精製土器⇒粗製土器の順に配列し、それぞれ鉢・台付鉢・深鉢・壺・浅鉢・皿・注口土器といった器種毎の配列を行い、さらに各器種内を大洞B・BC・C1・C2・A式といった時期順に便宜上配列した。出土した石器については、剥片石器⇒礫石器の順に配列し、原則として定形石器を掲載し、不定形石器については紙面の都合から一覧表掲載のみに留めている。陶磁器(近世～近代)については、出土量が限られ全て遺構外出土であるため、掲載を割愛している。

①土器(第14～20図・写真図版5～9)

22～31は縄文時代後期とみられる土器である。22～26のように沈線による倒卵状の磨消縄文がつくもの、29～31のように割目状摺糸文がつくものなどがみられ、いずれも器厚は厚めである。

32～155は縄文時代晩期に属する精製・半精製土器類である。32・39～52・55～87は鉢もしくは深鉢類で、中でも鉢型のものが主体となる。うち、32・39～47は沈線に加え研磨されるものや羊歯状文に特色のある大洞B～BC式、48～52・55～59は大洞BC・C1式移行期、60～81・87は磨消縄文による雲形文主体の大洞C1～C2式、82～86は工字文が描かれる大洞A式にそれぞれ併行する時期のものであり、文様帯はいずれも胴部上半にある。33・34・37・38・53・54は台付鉢で、全て大洞B～BC式併行期のものとみられ、33は外面に赤彩が施される。35・88～90は壺類で、肩部に文様の描かれるものである。91～128は浅鉢・皿であり、うち91のみ大洞BC式併行とみられる以外は大洞C1～C2式とみられるものが多い。皿類には、93・97・99などのように体～底部境界がはっきりせず丸底風となるものがあり、底部を除く外面に文様が施される。36・105～120は注口土器であり、完形のもの少ないが105は比較的残りが良く、壺もしくは算盤玉状の器形にやや上方を向く注ぎ口をつけた形状となる。36・105～113・115・116は大洞B～BC式、114・117～120は大洞C1～C2式併行期のものである。121は香炉であり、羊歯状文が施される大洞BC式とみられるもので、122も香炉の外面上半につく裝飾突起の可能性はある。

123～155は半粗製のもので、鉢もしくは深鉢・台付鉢といった器種がみられる。羊歯状文の退化した平行沈線間の刻目や平行沈線による幅の狭い文様帯が口縁部に施されるもので、口縁端には連続刻目もしくは山型の小突起がつく。いずれも大洞C1～C2式併行期とみられるものが多い。

156～171は粗製土器類である。156～165は深鉢類で、総じて大型のものが目立つ。156～163は口縁端に連続刻目がつき、また156～158・160～162は口縁部に単～多条の平行沈線文が施されるもので、大洞C2式併行に属するものであろう。166～171は壺類で、うち165は口縁端近くや頸～胴部の境界付近に平行沈線、167は口縁端に地文の施されるもの。168～170は小型のものである。172は欠損後に浅鉢(または壺)の底部付近を皿として再利用したもので、欠損部分が摩耗している。173は大型の四足土器で、大洞A式前後のものである。174～176はミニチュアの壺もしくは台付鉢類で、いずれも無文のものである。

②土製品(第21図・写真図版10)

177～181は土偶とみられ、全て中空のものであり、完形で出土のものはない。177・178は遮光器土偶で、土器と類似する文様のみられる大洞BC式前後のものである。179は、顔付土器の口縁部片の可能性も残る。181は大型土偶の腕部片である。

182・184・185・187～194はその他の土製品類である。182は中空の亀形土製品で、長軸上の両端に2箇所の小穿孔を施すものである。内部に粘土粒(小石?)1個を含む縄文時代晩期の遺物である。184は、朱塗りの耳栓である。185～194は土製円盤であり、主に粗製土器の胴部片を再利用し周縁を打ち欠いている。185・187～189は中央に穿孔がされ周縁が摩耗するもので、190～194は穿孔の無いものである。文様からみて、185は大洞C2式、193は大洞B～BC式期のもので、他のものも概ね縄文時代晩期に属するものであろう。

③石器 (第22・23図・写真図版10・11)

197～213は剥片石器類、214～216・218～223は礫石器類である。

197～207は、石鏃類である。うち、197～200は有茎のもので、205～207は棒状、201・202は無茎(凹基)のもの、また203・204は木葉形もしくは柳葉形のものである。うち、200は大型で、基部側の片縁にタール状の付着物が残る。208～211は石錐で、うち208～210は基部がやや明瞭に作り出される。212は、大型の縦型石匙である。213・219は、両面調整石器である。

214～216は磨製石斧類で、全て欠損しているが、214に限り接合している。218は礫石錘で、1点のみ出土している。220は敲打磨石で、長軸上的一端と一側縁が主な機能面である。221は打製石斧(未完成)、222は石鋏で特に基部側に摩耗が目立つ。223は砥石で、上下両端を除く各面に擦痕が観察される。

④石製品 (第24図・写真図版11)

224～226は石棒もしくは棒状石製品であり、うち224は頭部が明確に作り出される。227は岩板で、片面に正中線様の沈線が刻まれるほか、各面に擦痕が顕著にみられる縄文時代晩期のものである。

228～230は、有孔の石製品類である。228は白色を呈し、片面に連続刻みによる縁取りがあるもの。229・230は垂飾品とみられ、229は勾玉状、230は暗緑色を呈し一辺に突出部をもつ小型のものである。

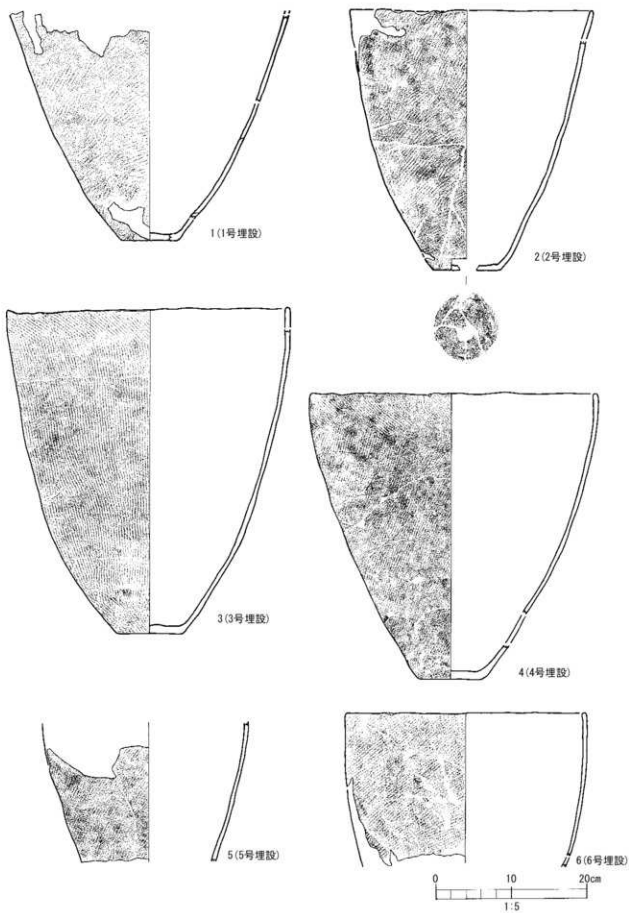
231～235は石製円盤であり、前述の土製円盤と類似する形状となるものである。扁平な石材を利用し、周縁の打ち欠きが一周するものが多い。うち、233は打ち欠きが全周せず途切れるもので、未成品の可能性はある。なお、土製円盤にみられた穿孔が施されるものは、一切含まれない。

⑤古代土器 (第25図・写真図版11)

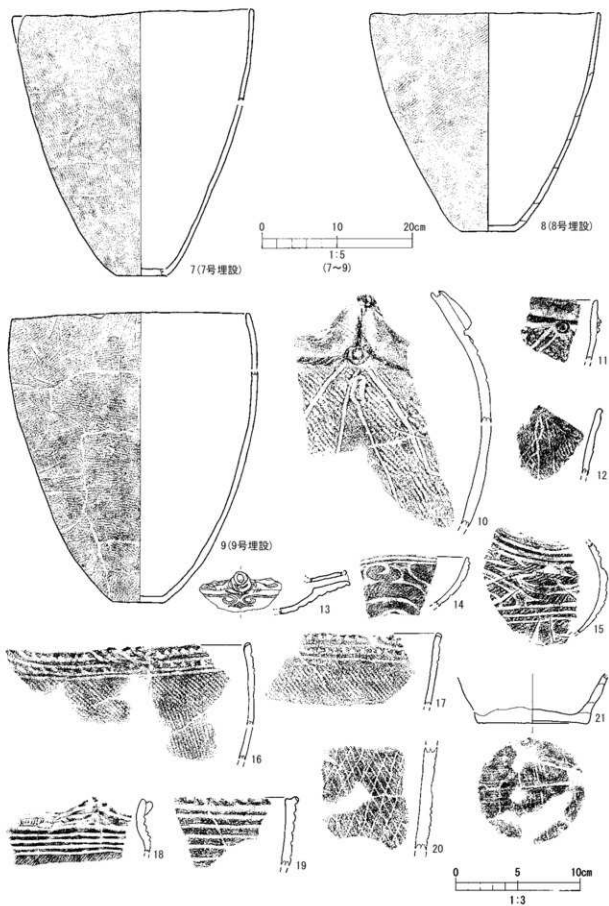
241～243は土師器坏で、243のみロクロ未使用で体部下半に浅い沈線が巡る。244～248は、ロクロ未使用の土師器甕である。

249～251は須恵器坏で、底部糸切のものが多い。252は須恵器瓶の胴部下半～底部片で、低い台部がつくもの。253は須恵器大甕の胴部上半片で、外面に平行タキ目がつく。

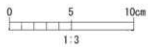
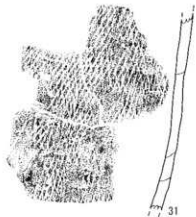
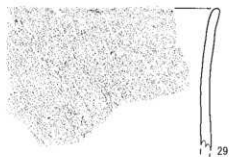
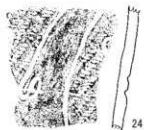
なお、236～240については住居内の出土につき、堅穴住居跡出土遺物の項を参照されたい。



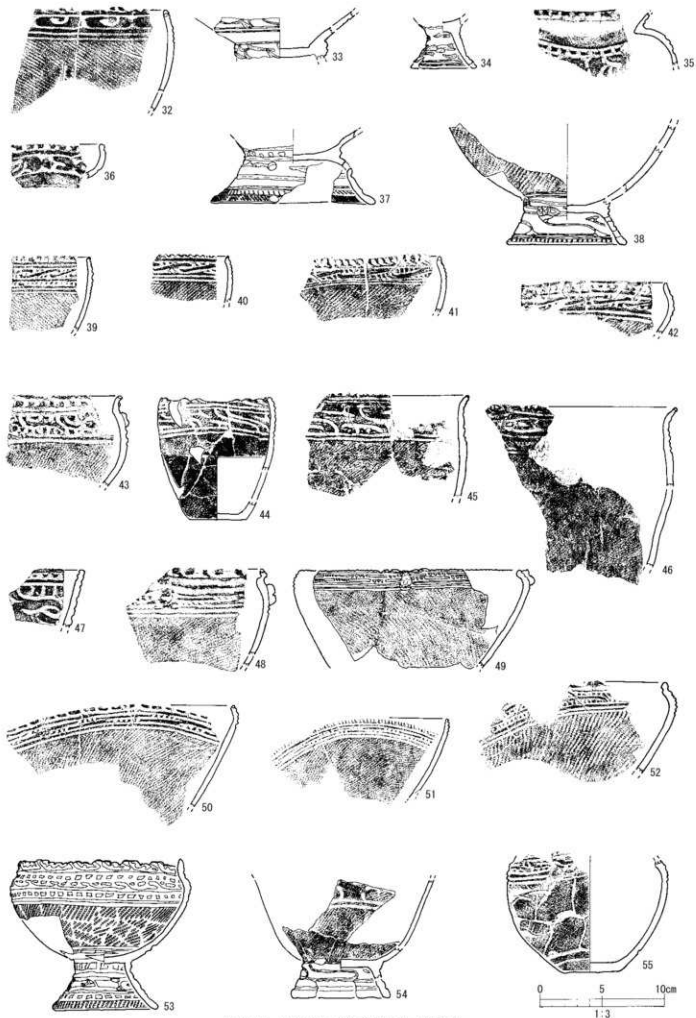
第12図 出土遺物 (1) 埋設土器



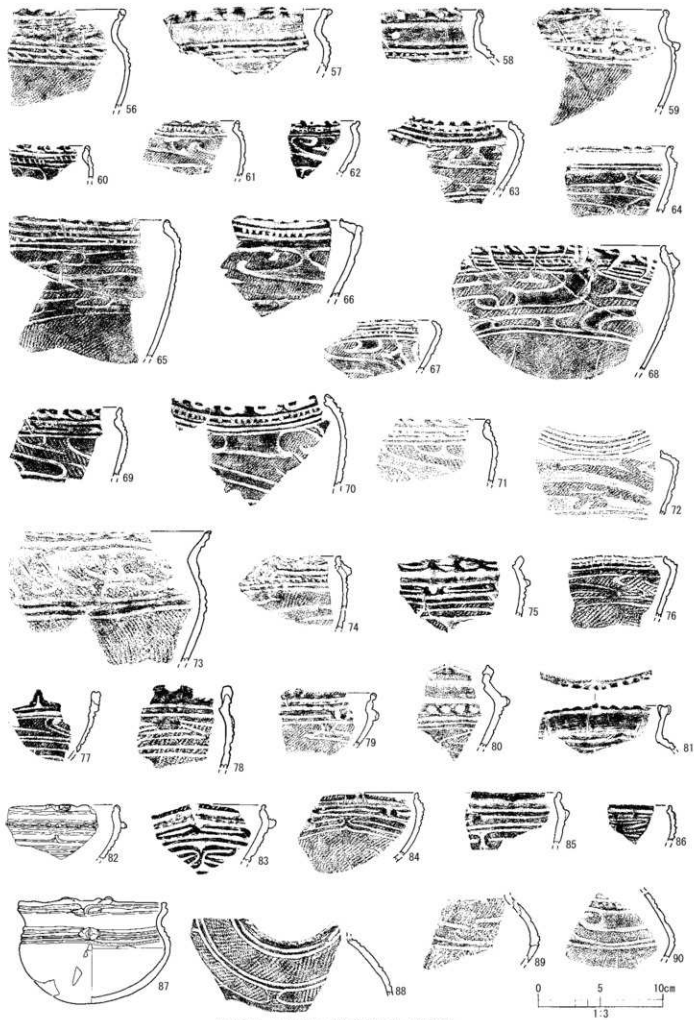
第13図 出土遺物 (2) 埋設土器ほか遺構内出土土器



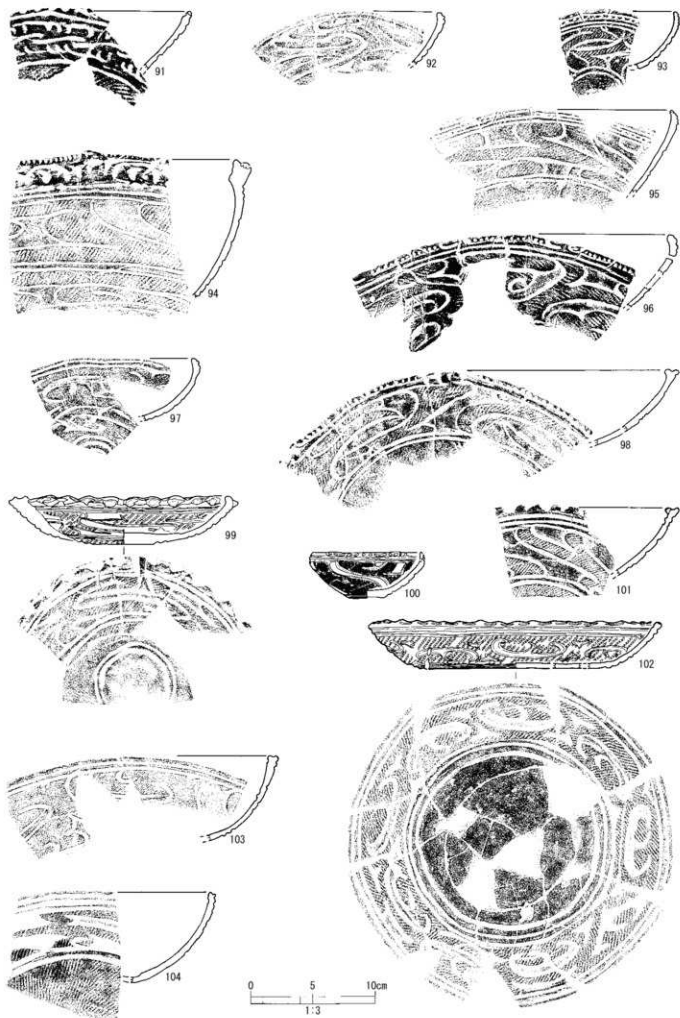
第14図 出土遺物(3) 縄文土器(後期)



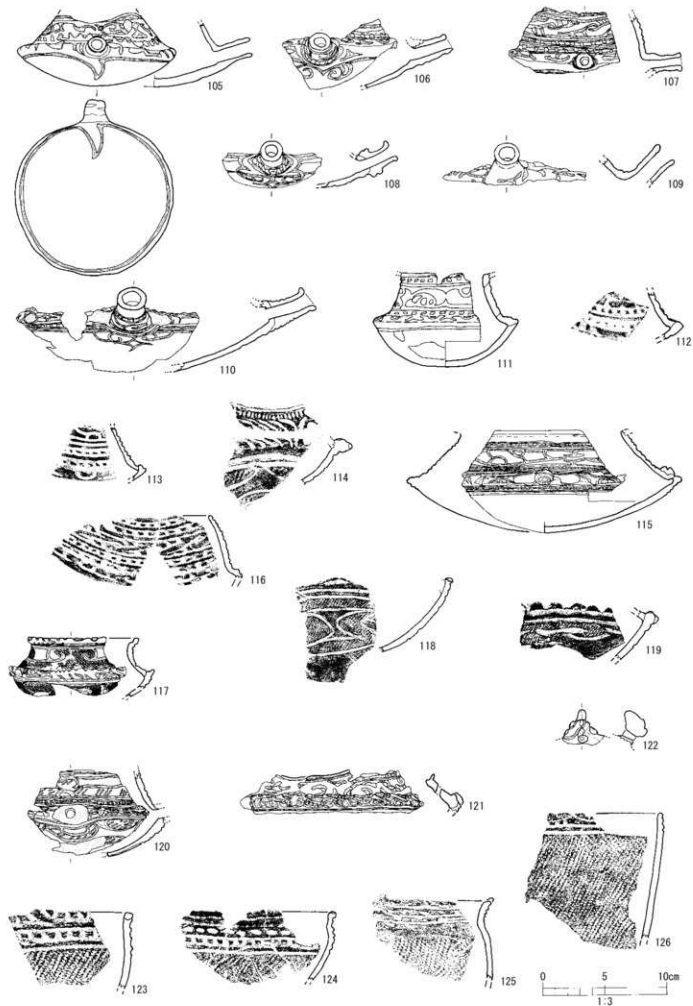
第15图 出土遗物(4) 縄文土器(晚期①)



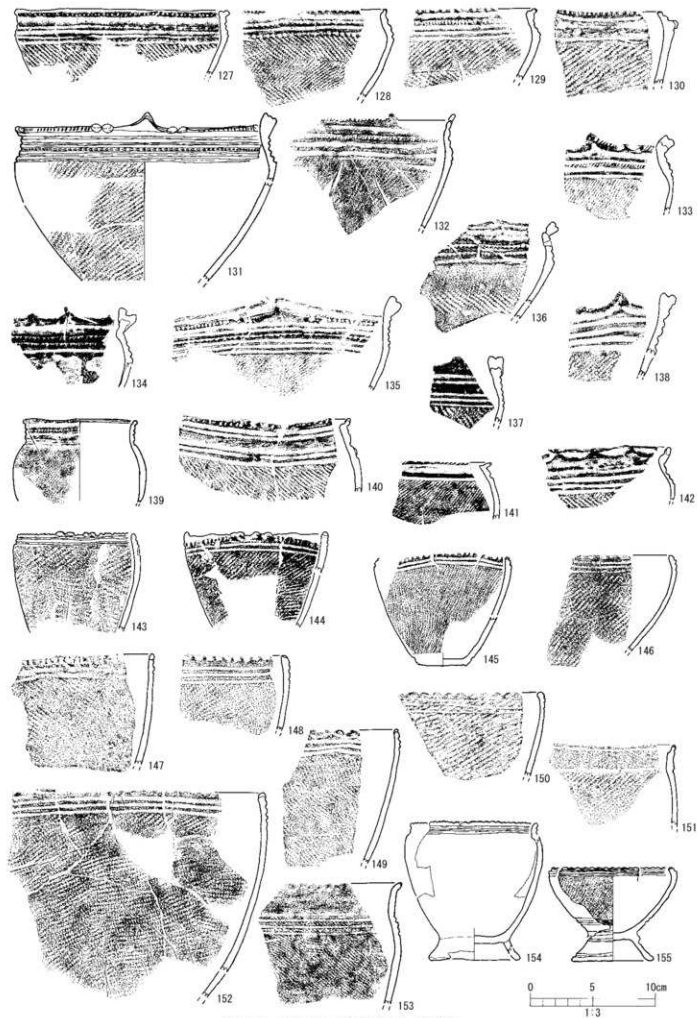
第16图 出土遗物(5) 縄文土器(晚期2)



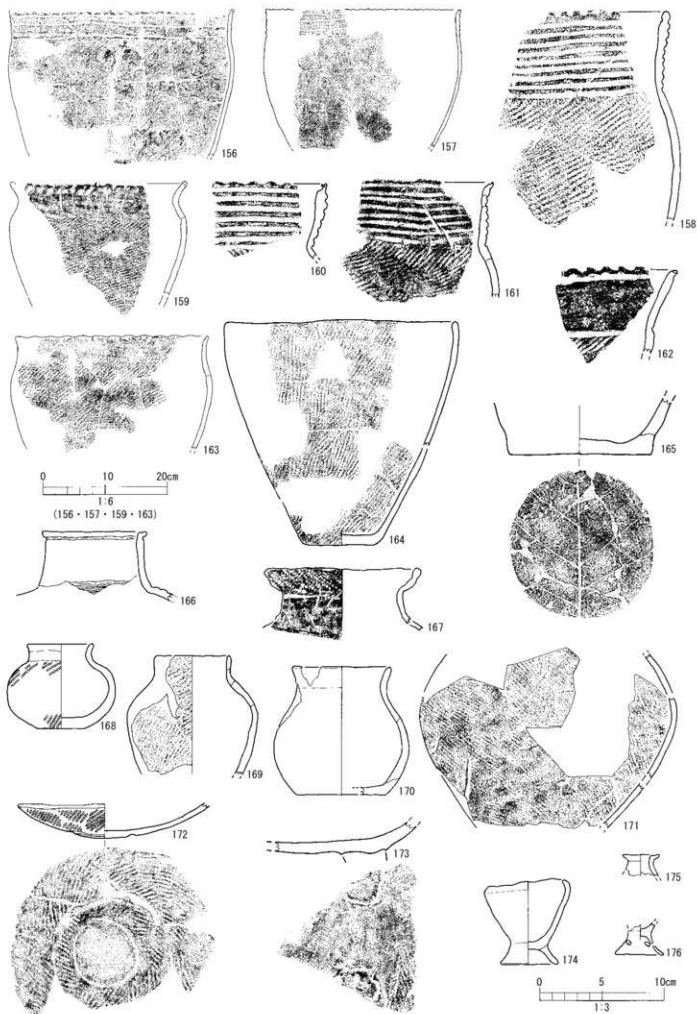
第17图 出土遗物(6) 绳文土器(晚期③)



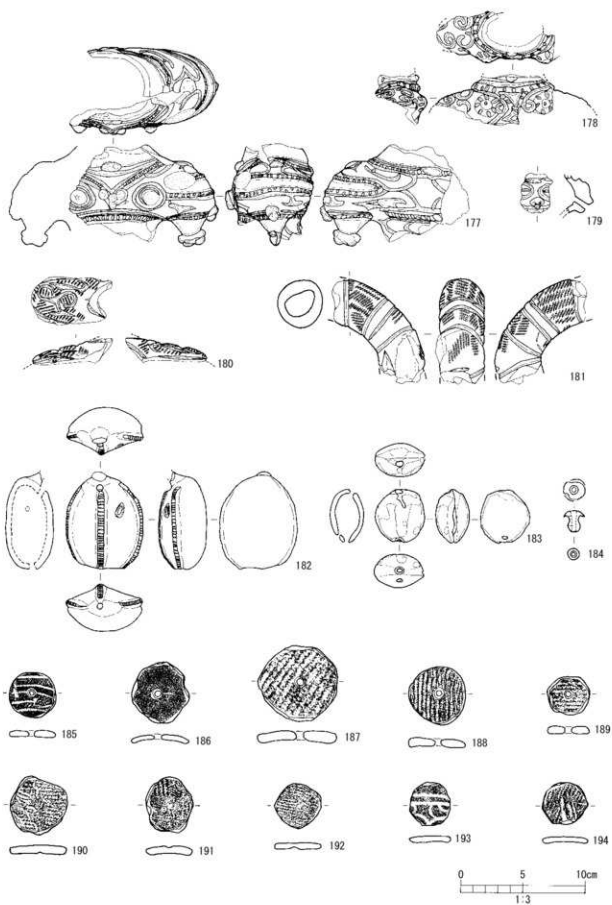
第18图 出土遗物(7) 縄文土器(晚期4)



第19図 出土遺物 (8) 縄文土器 (晩期5)



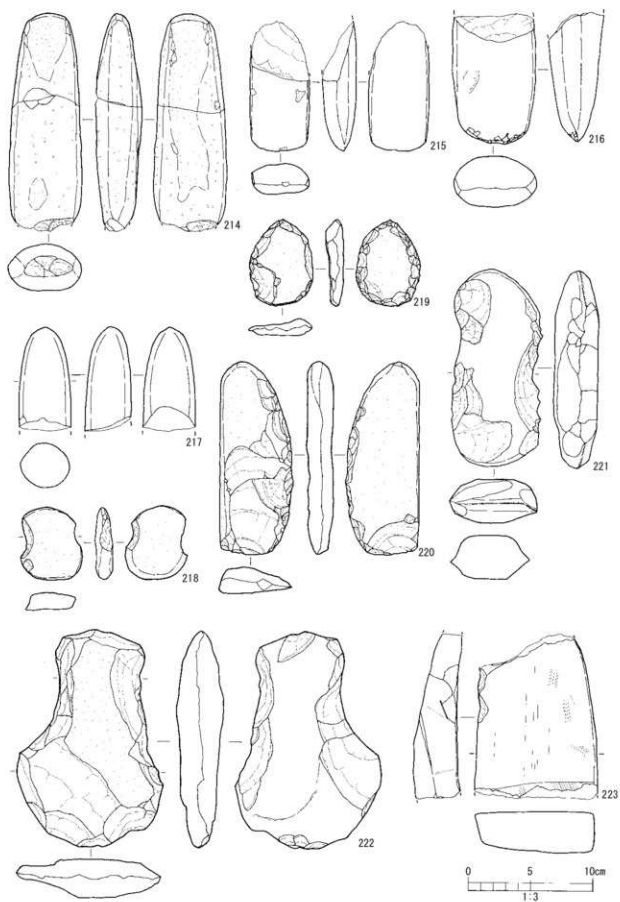
第20図 出土遺物 (9) 縄文土器 (晩期6)



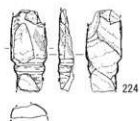
第21图 出土遺物 (10) 土製品



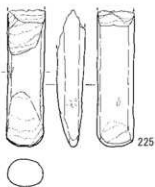
第22图 出土遺物(11)石器①(剥片石器)



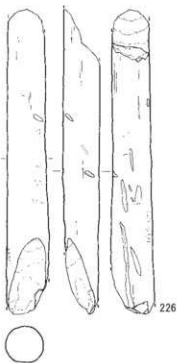
第23图 出土遺物(12)石器②(礫石器)



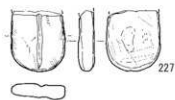
224



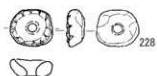
225



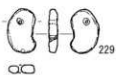
226



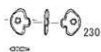
227



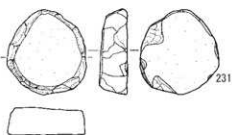
228



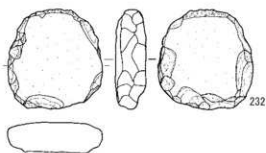
229



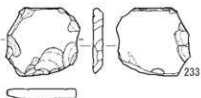
230



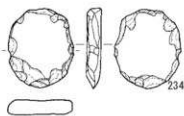
231



232



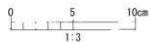
233



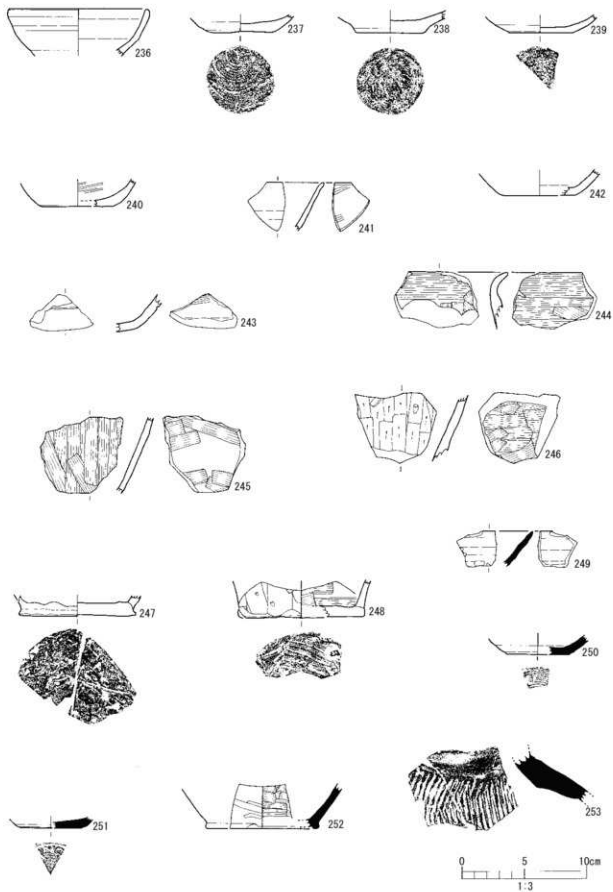
234



235



第24図 出土遺物 (13) 石製品



第25图 出土遗物(14) 古代土器

| 名称 | グリッド | 開口部径 (cm) | 深さ (cm) | 底面標高値 (m) |
|-------|------|-------------|---------|-----------|
| ビット1 | 13B | (31) × (20) | 17.3 | 82.828 |
| ビット2 | 8B | (61) × (13) | (40.3) | 81.032 |
| ビット3 | 8B | 66 × (54) | 36.6 | 80.092 |
| ビット4 | 8B | (48) × 33 | 29.5 | 81.176 |
| ビット5 | 8B | 50 × 36 | 33.7 | 81.131 |
| ビット6 | 8B | (34) × (22) | 13.2 | 81.310 |
| ビット7 | 8B | 27 × 24 | 16.6 | 81.235 |
| ビット8 | 9B | 32 × (28) | 15.5 | 81.155 |
| ビット9 | 9B | 22 × 22 | 14.2 | 81.185 |
| ビット10 | 9B | (47) × (46) | 26.3 | 81.152 |
| ビット11 | 9B | 32 × 29 | 22.0 | 81.100 |
| ビット12 | 7A | 62 × 44 | 26.6 | 82.323 |
| ビット13 | 7A | 48 × 43 | 10.1 | 82.556 |
| ビット14 | 7B | (35) × (21) | (20.3) | 82.499 |
| ビット15 | 7B | (39) × (18) | (6.9) | 82.633 |
| ビット16 | 7B | (51) × (43) | 16.2 | 82.521 |
| ビット17 | 6A | 47 × 44 | 22.4 | 82.340 |
| ビット18 | 5B | 52 × 36 | 32.2 | 82.086 |
| ビット19 | 4C | (14) × (22) | 11.9 | 81.832 |
| ビット20 | 4D | 28 × 24 | 20.6 | 81.878 |
| ビット21 | 4D | 42 × 37 | 24.4 | 81.896 |
| ビット22 | 4D | 28 × 27 | 17.6 | 81.799 |
| ビット23 | 5D | 27 × 24 | 9.3 | 82.227 |
| ビット24 | 5D | 28 × 24 | 12.2 | 81.918 |
| ビット25 | 6D | (24) × (10) | (5.9) | (82.414) |
| ビット26 | 4E | 32 × 30 | 20.7 | 81.749 |
| ビット27 | 4E | 30 × 26 | 13.6 | 81.892 |
| ビット28 | 5E | 29 × 27 | 16.8 | 81.937 |
| 土坑 | 14B | 80 × 71 | 45.1 | 82.742 |

表1 柱穴・土坑計測表

※ () 内は残存値。

■土器

| 掲載番号 | 登録番号 | 遺構名 | 出土地点 | 出土層位 | 種類 | 器種 | 部位 | 計測値 | | | 文種 | 備考 |
|------|------|--------|-----------|----------|------|----|------|--------|--------|--------|-----------------------|-----|
| | | | | | | | | 口径(mm) | 底径(mm) | 器高(mm) | | |
| 1 | 001 | 1号埋設 | 5B | — | 縄文土器 | 深鉢 | 胴～底 | — | 76 | (297) | LR横～斜 (不整) | |
| 2 | 002 | 2号埋設 | 5B | — | 縄文土器 | 深鉢 | 底実形 | 324 | 90 | 344 | 不整 (LR横が主体) | |
| 3 | 003 | 3号埋設 | 4D | — | 縄文土器 | 深鉢 | 底実形 | 375 | 87 | 431 | (口縁及び胴下部) RL横 (斜) RL斜 | |
| 4 | 004 | 4号埋設 | 4D | — | 縄文土器 | 深鉢 | 底実形 | 382 | 84 | 378 | (口縁・胴下部) RL横 (斜) RL斜 | |
| 5 | 005 | 5号埋設 | 4D東半 | — | 縄文土器 | 深鉢 | 胴 | [272] | — | (183) | RL縦 | |
| 6 | 006 | 6号埋設 | 4D東半 | — | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | [320] | — | (191) | LR横 | |
| 7 | 007 | 7号埋設 | 4D東半 | — | 縄文土器 | 深鉢 | 底実形 | 314 | 66 | 352 | RL斜 | |
| 8 | 008 | 8号埋設 | 5D東側17%付近 | — | 縄文土器 | 深鉢 | 底実形 | 307 | 76 | 299 | LR横 | |
| 9 | 009 | 9号埋設 | 4E | — | 縄文土器 | 深鉢 | 底実形 | 309 | 65 | 373 | RL斜 | |
| 10 | 018 | 壺穴状 | 6D東側17%付近 | 埋土 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | — | — | (190) | RL横 | |
| 11 | 022 | 壺穴状 | 6D | 貼床 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁 | — | — | (48) | LR縦 (埋設) | |
| 12 | 020 | 壺穴状 | 7D | 貼床 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁 | — | — | (54) | RL横 | |
| 13 | 016 | 壺穴状 | 6D西半 | 埋土下位 | 縄文土器 | 注口 | 注口～胴 | — | — | (32) | — | |
| 14 | 015 | 壺穴状 | 7D西半 | 埋土上位 | 縄文土器 | 浅鉢 | 口縁 | — | — | (45) | — | |
| 15 | 017 | 壺穴状 | 6D東半 | 埋土下位 | 縄文土器 | 壺 | 胴 | — | — | (72) | — | |
| 16 | 011 | 壺穴状 | 6D南北ベルト | 埋土 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | — | — | (90) | RL横 | |
| 17 | 012 | 壺穴状 | 6D南北ベルト | 埋土 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | — | — | (55) | RL横 | |
| 18 | 014 | 壺穴状 | 6D東半 | 埋土上位 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | — | — | (41) | LR横 | |
| 19 | 019 | 1号壺穴住居 | 13C南北ベルト | 埋土 | 縄文土器 | 深鉢 | 胴 | — | — | (56) | — | |
| 20 | 013 | 壺穴状 | 6D南北ベルト | 埋土 | 縄文土器 | 深鉢 | 胴 | — | — | (84) | 網目状燃系 | |
| 21 | 023 | 壺穴状 | 6D | 貼床 | 縄文土器 | 深鉢 | 底 | — | 90 | (38) | — | 敷物痕 |
| 22 | 224 | — | 5E | II層～III層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | — | — | (235) | LR縦 | |
| 23 | 241 | — | 5E | II層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | — | — | (142) | LR縦 | 接合 |
| 24 | 234 | — | 5E | II層 | 縄文土器 | 深鉢 | 胴 | — | — | (97) | RL縦 | |
| 25 | 227 | — | 5E | II層 | 縄文土器 | 深鉢 | 胴 | — | — | (65) | RL横 | |
| 26 | 043 | — | 3B | II層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁 | — | — | (68) | — | |
| 27 | 160 | — | 4E | I層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁 | — | — | (57) | LR横 | |
| 28 | 076 | — | 12B | II層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁 | — | — | (43) | 垂痕 (縦) | |
| 29 | 147 | — | 50北半 | II層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | — | — | (114) | 網目状燃系 (縦) | |
| 30 | 139 | — | 5D | II層 | 縄文土器 | 深鉢 | 胴 | — | — | (130) | 網目状燃系 (縦) | |

表2 出土遺物観察表

※ () 内は残存値。

■土器

| 掲載番号 | 登録番号 | 遺構名 | 出土地点 | 出土層位 | 種類 | 器種 | 部位 | 計測値 | | 文様 | 備考 |
|------|-------|-----|----------|----------|------|------|-------|--------|----------|----------|-------------|
| | | | | | | | | 口径(mm) | 底径(mm) | | |
| 31 | 236 | - | 5E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 胴 | - | (159) | 網目状磨糸(横) | |
| 32 | 062 | - | 5B | I層~II層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | - | (81) | 丸横 | |
| 33 | 184 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 台付浅鉢 | 胴~台 | - | (38) | - | |
| 34 | 133 | - | 5D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 台付鉢 | 底~台 | (50) | (36) | - | 小型 |
| 35 | 025 | - | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 恵 | 頸~胴 | - | (45) | - | 2号焼土下層 |
| 36 | 178 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 注口 | 口縁 | (122) | (28) | - | |
| 37 | 182 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 台付鉢 | 高台 | - | 128 (55) | - | 大型 |
| 38 | 129-1 | - | 5D | I層 | 縄文土器 | 台付鉢 | 胴~底 | - | (96) | (96) | - |
| 39 | 115 | - | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | - | (58) | 丸横 | |
| 40 | 054 | - | 4B | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | - | (35) | LR横 | |
| 41 | 228 | - | 5E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | (170) | (43) | LR横 | |
| 42 | 100 | - | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | - | (40) | LR横 | |
| 43 | 026 | - | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | - | (72) | LR横 | 2号焼土下層 |
| 44 | 176 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 季実形 | 86 | 46 | 98 | LR横(磨消) |
| 45 | 059 | - | 5B | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | - | (81) | LR横 | 小型 |
| 46 | 067 | - | 6B | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁~胴 | - | (127) | LR横 | 風倒木(北側) |
| 47 | 028 | - | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | - | (47) | - | 2号焼土下層 |
| 48 | 113 | - | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | - | (77) | - | |
| 49 | 087 | - | 12C | I層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | (176) | (78) | 丸横 | |
| 50 | 188 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | (146) | (81) | 不整(LR横) | |
| 51 | 198 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | (110) | (65) | 不整(LR横) | |
| 52 | 129-2 | - | 5D | I層 | 縄文土器 | 鉢 | 胴~底 | (96) | (96) | LR横 | |
| 53 | 146 | - | 5D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 台付浅鉢 | 季実形 | 124 | 79 | 121 | LR |
| 54 | 127 | - | 5D | I層 | 縄文土器 | 台付鉢 | 胴~底 | (80) | (95) | LR横 | |
| 55 | 036 | - | 2B南東突き | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 胴~底 | (118) | (45) | (91) | 羽状縄文(絶跡なし)横 |
| 56 | 075 | - | 12B | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | - | (78) | LR横 | |
| 57 | 061 | - | 5B | I層~II層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | - | (50) | 磨消縄文 | |
| 58 | 031 | p21 | 4D南半 | 埋土 | 縄文土器 | 恵 | 口縁~胴 | - | (40) | - | |
| 59 | 081 | - | 4C | I層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | - | (76) | LR横 | |
| 60 | 068 | - | 6B | - | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | - | (26) | LR横(磨消) | 風倒木(北側) |
| 61 | 121 | - | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | - | (44) | LR横(磨消) | |
| 62 | 194 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | - | (44) | - | |
| 63 | 144 | - | 5D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | - | (63) | LR横(磨消) | |
| 64 | 181 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | - | (44) | - | |
| 65 | 063 | - | 6B | - | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | - | (110) | LR横 | 風倒木(北側) |
| 66 | 082 | - | 4Cサブトレンチ | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | - | (60) | LR横(磨消) | |
| 67 | 223 | - | 5E東側 | I層~II層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | (176) | (40) | - | 小型 |
| 68 | 118 | - | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | (132) | (103) | LR横(磨消) | |
| 69 | 110 | - | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | - | (56) | 丸横 | |
| 70 | 109 | - | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | - | (71) | LR横 | |
| 71 | 120 | - | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | - | (51) | 丸横(磨消) | |
| 72 | 174 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | - | (52) | LR横 | |
| 73 | 098 | - | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | - | (104) | (頸部)LR横 | |
| 74 | 205 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁~胴 | - | (53) | LR横(磨消) | |
| 75 | 168 | - | 4E | Ⅱb層~Ⅱc層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | - | (47) | LR横(磨消) | |
| 76 | 085 | - | 12C | I層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | - | (48) | LR横(磨消) | |
| 77 | 119 | - | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | - | (52) | LR横(磨消) | |
| 78 | 079 | - | 2C | I層~II層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | - | (63) | LR横(磨消) | |
| 79 | 247 | - | 13E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | - | (42) | LR横(磨消) | |
| 80 | 099 | - | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | - | (65) | LR横 | |
| 81 | 194 | - | 4D | Ⅱ層上位 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | - | (56) | - | |
| 82 | 102 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | (106) | (44) | - | |
| 83 | 193 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | - | (41) | - | |
| 84 | 164 | - | 4E | I層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁~胴 | (150) | (50) | - | 小型 |
| 85 | 197 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | - | (39) | - | |
| 86 | 041 | - | 2B | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | - | (29) | - | 小型 |
| 87 | 149 | - | 5D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 胴~底 | (118) | (85) | - | 小型 |
| 88 | 171 | - | 4E | Ⅱb層~Ⅱc層 | 縄文土器 | 恵 | 胴 | - | (24) | LR横(磨消) | |
| 89 | 071 | - | 6B | 埋土 | 縄文土器 | 恵 | 頸~胴 | - | (52) | LR横 | |
| 90 | 035 | - | 5A | Ⅱ層 | 縄文土器 | 恵 | 胴(磨) | - | (52) | LR横(磨消) | |
| 91 | 117 | - | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 浅鉢 | 口縁 | - | (33) | LR横 | |
| 92 | 214-1 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 浅鉢 | 口縁~胴 | (136) | (46) | LR横(磨消) | |
| 93 | 032 | p21 | 4D南半 | 埋土 | 縄文土器 | 皿 | 口縁~底 | - | (46) | - | 丸底風, 小型 |
| 94 | 216 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 浅鉢 | 口縁~胴 | (400) | (115) | LR横(磨消) | 大型 |
| 95 | 240 | - | 5E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 浅鉢 | 口縁~胴 | (190) | (68) | - | |
| 96 | 185 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 浅鉢 | 口縁~胴 | (180) | (58) | - | |
| 97 | 242 | - | 5E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 皿 | 口縁~底 | (120) | (45) | LR横(磨消) | 丸底 |
| 98 | 218 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 皿 | 口縁~胴 | (204) | (63) | LR横(磨消) | |
| 99 | 248 | - | 4C東半 | I層~II層 | 縄文土器 | 皿 | 口縁~胴 | (184) | (50) | 39 | LR横(磨消) |
| 100 | 090 | - | 2D北西 | Ⅱ層 | 縄文土器 | 浅鉢 | 季実形 | (88) | (25) | (36) | LR横 |
| 101 | 130 | - | 5D | I層 | 縄文土器 | 皿 | 口縁~胴 | - | (55) | LR横(磨消) | |
| 102 | 128 | - | 5D中央北端 | I層 | 縄文土器 | 皿 | 季実形 | 235 | 150 | 38 | LR横(磨消) |
| 103 | 050 | - | 4B | Ⅱ層 | 縄文土器 | 皿 | 口縁~胴 | (127) | (69) | - | |
| 104 | 064 | - | 6B | 埋土(上~中位) | 縄文土器 | 皿 | 口縁~胴 | - | (66) | LR横 | |
| 105 | 102 | - | 4D | Ⅱa層 | 縄文土器 | 注口 | 注口~胴 | - | (127) | (50) | |
| 106 | 209 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 注口 | 注口~胴 | - | (55) | - | |
| 107 | 030 | p21 | 4D南半 | 埋土 | 縄文土器 | 注口 | 口縁~注口 | - | (53) | - | |
| 108 | 167 | - | 4E | Ⅱa層 | 縄文土器 | 注口 | 注口~胴 | - | (37) | - | |
| 109 | 212 | - | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 注口 | 注口~胴 | - | (34) | - | |
| 110 | 108 | - | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 注口 | 注口~胴 | - | (74) | - | 丸底風 |

■土器

| 相継番号 | 登録番号 | 遺構名 | 出土地点 | 出土層位 | 種類 | 器種 | 部位 | 計測値 | | 文様 | 備考 | |
|------|-------|-----|---------|-------|------|--------|------|--------|--------|-------|----|-----------------|
| | | | | | | | | 口径(mm) | 底径(mm) | | | |
| 111 | 131 | — | 5D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 注口 | 胴～底 | — | 30 | (75) | — | 丸底 |
| 112 | 029 | — | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 注口 | 胴 | — | — | (37) | — | 2号焼土層 |
| 113 | 122 | — | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 注口 | 胴 | — | — | (45) | — | — |
| 114 | 152 | — | 7D | Ⅰ層 | 縄文土器 | 注口 | 胴 | — | — | (45) | — | LR横(原消) |
| 115 | 096 | — | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 注口 | 胴～底 | — | — | 82 | — | 丸底 |
| 116 | 145 | — | 5D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 注口 | 口縁 | — | — | (50) | — | — |
| 117 | 050 | — | 5B | Ⅱ層 | 縄文土器 | 注口 | 口縁～胴 | (80) | — | (48) | — | 丸横(原消) |
| 118 | 150 | — | 6D | Ⅰ層→Ⅱ層 | 縄文土器 | 注口 | 胴 | — | — | (61) | — | LR横(原消) |
| 119 | 132 | — | 5D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 注口 | 胴 | — | — | (38) | — | LR横(原消) |
| 120 | 239 | — | 5E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 注口 | 口縁～胴 | — | — | (60) | — | LR横(原消) |
| 121 | 046-1 | — | 4B | Ⅱ層 | 縄文土器 | 香炉形 | 口縁～胴 | — | — | (32) | — | — |
| 122 | 073 | — | 6B | 埋込中 | 縄文土器 | 香炉形 | 口縁上部 | — | — | (28) | — | — |
| 123 | 024 | — | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | — | — | (61) | — | LR横 2号焼土層 |
| 124 | 137 | — | 5D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁～胴 | — | — | (54) | — | LR横 |
| 125 | 027 | — | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁 | — | — | (64) | — | LR横 2号焼土層 |
| 126 | 097 | — | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁～胴 | — | — | (100) | — | — |
| 127 | 153 | — | 12D北西隅 | Ⅰ層→Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁～胴 | 84 | — | (52) | — | 丸横 |
| 128 | 052 | — | 4B | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁～胴 | — | — | (70) | — | 羽状縦文様 |
| 129 | 138 | — | 5D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁～胴 | — | — | (62) | — | 羽状縦文(結縁なし)横 |
| 130 | 229 | — | 5E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁～胴 | — | — | (58) | — | LR横 |
| 131 | 220 | — | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁～胴 | (210) | — | (135) | — | LR横 |
| 132 | 051 | — | 4B | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁～胴 | — | — | (91) | — | LR横 |
| 133 | 232 | — | 5E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁～胴 | — | — | (66) | — | LR横 |
| 134 | 169 | — | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁～胴 | — | — | (60) | — | — |
| 135 | 217-2 | — | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁～胴 | (182) | — | (81) | — | LR横 |
| 136 | 243 | — | 5E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁～胴 | — | — | (82) | — | 羽状縦文(結縁なし)横 |
| 137 | 089 | — | 13C | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | — | — | (54) | — | 丸横 |
| 138 | 208 | — | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | — | — | (69) | — | — |
| 139 | 186 | — | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁～胴 | (92) | — | (66) | — | LR横 |
| 140 | 177 | — | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | (142) | — | (60) | — | 丸横 |
| 141 | 226 | — | 5E北西隅 | Ⅱ層上位 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁～胴 | — | — | (45) | — | LR横 |
| 142 | 195 | — | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁 | — | — | (43) | — | 丸横 |
| 143 | 215 | — | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | (95) | — | (79) | — | 木拵 |
| 144 | 162 | — | 4E | Ⅰ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁～胴 | (112) | — | (77) | — | LR横 小型 |
| 145 | 112 | — | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁～底 | (109) | 36 | 87 | — | 不整LR横(主体) 無文_小型 |
| 146 | 055 | — | 4B | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁～胴 | — | — | (77) | — | LR横 小型 |
| 147 | 142 | — | 5D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | — | — | (89) | — | 不整(丸横)主体 |
| 148 | 207 | — | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | — | — | (61) | — | LR横 |
| 149 | 095 | — | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 鉢 | 口縁～胴 | — | — | (118) | — | 丸横 |
| 150 | 116 | — | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | — | — | (67) | — | LR横 |
| 151 | 190 | — | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | (118) | — | (64) | — | LR横 |
| 152 | 111 | — | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | (236) | — | (154) | — | 不整LR横(主体) |
| 153 | 107 | — | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | — | — | (95) | — | 丸横 |
| 154 | 219 | — | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 台付鉢 | 専定形 | 102 | 74 | 110 | — | 無文 |
| 155 | 136 | — | 5D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 台付鉢 | 口縁～底 | (104) | 72 | 75 | — | LR横 |
| 156 | 156 | — | 2E北半 | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | (360) | — | (236) | — | 不定方向 |
| 157 | 080 | — | 2C | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | — | — | (221) | — | LR横 |
| 158 | 183 | — | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | — | — | (168) | — | LR横 |
| 159 | 125 | — | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | (280) | — | (203) | — | LR横 |
| 160 | 042 | — | 3B | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁 | — | — | (62) | — | — |
| 161 | 170 | — | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | — | — | (92) | — | LR横 |
| 162 | 157 | — | 2E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁 | — | — | (70) | — | LR横 |
| 163 | 047 | — | 4B | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 口縁～胴 | (155) | — | (181) | — | 不整(LR横)主体 |
| 164 | 124 | — | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 専定形 | (184) | 55 | (179) | — | 不整方向(LR横?) 小型 |
| 165 | 106 | — | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 深鉢 | 底 | — | 116 | (45) | — | 木葉直 |
| 166 | 165 | — | 4E | Ⅱa層 | 縄文土器 | 壺 | 口縁～頸 | (84) | — | (50) | — | — |
| 167 | 166 | — | 4E | Ⅱa層 | 縄文土器 | 壺 | 口縁～頸 | (125) | — | (40) | — | 丸横 |
| 168 | 123 | — | 4D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 壺 | 専定形 | 52 | 38 | 68 | — | LR横 小型 |
| 169 | 233 | — | 5E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 壺 | 口縁～胴 | (62) | — | (95) | — | LR横 |
| 170 | 105 | — | 4D? 1号沖 | Ⅱ層 | 縄文土器 | 壺 | 専定形 | 78 | (70) | (103) | — | — |
| 171 | 135 | — | 5D北西 | Ⅱa層 | 縄文土器 | 壺 | 胴 | — | (104) | (146) | — | 丸横 |
| 172 | 140 | — | 5D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 皿 | 胴～底 | — | 50 | (25) | — | 丸底風 |
| 173 | 039 | — | 2B | Ⅱ層 | 縄文土器 | 四足(浅鉢) | 底 | — | (28) | — | — | LR横 |
| 174 | 148 | — | 5D | Ⅱ層 | 縄文土器 | 台付鉢 | 完形 | 60 | 45 | 67 | — | 小型 |
| 175 | 088 | — | 13C | Ⅰ層 | 縄文土器 | 壺 | 口縁 | 30 | — | (17) | — | 小型 |
| 176 | 191 | — | 4E | Ⅱ層 | 縄文土器 | 台付鉢 | 底～高台 | — | 41 | — | — | 小型 |

■土製品

| 相継番号 | 登録番号 | 遺構名 | 出土地点 | 出土層位 | 種類 | 計測値 | | | 備考 | |
|------|------|------|------|--------|------|--------|-------|--------|-------|-----------|
| | | | | | | 長さ(mm) | 幅(mm) | 厚さ(mm) | | |
| 177 | 003 | — | 4D | Ⅰ層 | 土偶 | (82) | (120) | (70) | 137.1 | |
| 178 | 005 | — | 4D | Ⅱ層 | 土偶 | (41) | (91) | (42) | 38.9 | |
| 179 | 007 | — | 4E | Ⅱ層 | 土偶 | (57) | (26) | (15) | 10.2 | 頸部 |
| 180 | 001 | — | 4B北西 | (Ⅰ～)Ⅱ層 | 土偶 | (20) | (65) | (20) | 34.2 | 腕部 |
| 181 | 004 | — | 4D北西 | Ⅱa層 | 土偶 | (85) | (75) | (40) | 107.3 | |
| 182 | 010 | — | 4D北西 | Ⅱa層 | 亀形 | 77 | 61 | 38 | 90.9 | |
| 183 | 009 | 壺状伏 | 6D | 埋土 | 土製円鏡 | 43 | 40 | 27 | 19.0 | |
| 184 | 011 | ピット状 | 2D北西 | 埋土上位 | 耳輪 | 17 | 17 | 17 | 1.9 | |
| 185 | 018 | — | 13E | 埋込中位 | 土製円鏡 | 36 | 36 | 6 | 7.4 | 有孔 |
| 186 | 012 | 壺状伏 | 6D西半 | 埋土中位 | 土製円鏡 | 49 | 45 | 7 | 12.0 | 有孔 |
| 187 | 017 | — | 4E | Ⅱ層 | 土製円鏡 | 60 | 64 | 10 | 36.7 | 有孔 |
| 188 | 013 | — | 4D | Ⅰ層 | 土製円鏡 | 47 | 45 | 8 | 18.0 | 有孔, 2号焼土上 |
| 189 | 014 | — | 13B | Ⅱ層 | 土製円鏡 | 31 | 34 | 6 | 6.7 | 有孔 |
| 190 | 024 | — | 4E | Ⅱ層 | 土製円鏡 | 47 | 45 | 7 | 19.5 | |

■土製品

| 相観番号 | 登録番号 | 遺構名 | 出土地点 | 出土層位 | 種類 | 計測値 | | | | 備考 |
|------|------|-----|------|---------|------|--------|-------|--------|-------|----------|
| | | | | | | 高さ(mm) | 幅(mm) | 厚さ(mm) | 重量(g) | |
| 191 | 026 | — | 4E | Ⅱ層 | 土製円盤 | 45 | 38 | 7 | 12.7 | |
| 192 | 027 | — | 4E | Ⅱ層 | 土製円盤 | 37 | 37 | 5 | 8.4 | |
| 193 | 019 | — | 5A | Ⅱ層 | 土製円盤 | 35 | 32 | 6 | 7.5 | |
| 194 | 020 | — | 6B | Ⅰ層 | 土製円盤 | 34 | 36 | 5 | 7.6 | |
| — | 006 | — | 11D | Ⅰ層 | 土偶 | (33) | (26) | (6) | 6.7 | 頸～腰部上半 |
| — | 008 | — | 4E | Ⅱ層 | 土偶 | (15) | (31) | (7) | 12.8 | 胴部 |
| — | 015 | — | 5D | Ⅱ層 | 土製円盤 | 40 | (15) | 7 | 8.1 | 有孔、1/2残存 |
| — | 016 | — | 4E | Ⅱ層 | 土製円盤 | 37 | (20) | 4 | 3.7 | 有孔、1/2残存 |
| — | 021 | — | 4D | Ⅱ層 | 土製円盤 | 37 | 33 | 5 | 9.4 | |
| — | 022 | — | 5D | Ⅱ層 | 土製円盤 | 32 | 32 | 5 | 6.6 | |
| — | 023 | — | 6D | Ⅰ層～Ⅱ層 | 土製円盤 | 29 | 25 | 5 | 4.6 | |
| — | 025 | — | 4E | Ⅱ層 | 土製円盤 | 30 | 31 | 6 | 7.2 | |
| — | 028 | — | 4E | Ⅱ層 | 土製円盤 | 53 | 52 | 10 | 23.1 | |
| — | 029 | — | 4E | Ⅱb層～Ⅲc層 | 土製円盤 | 61 | 52 | 7 | 31.9 | |
| — | 048 | — | 4E | Ⅰ層 | 土偶 | (8) | (26) | (9) | 4.8 | 胴部 |
| — | 049 | — | 7D | Ⅰ層 | 土偶 | (21) | (19) | (9) | 10.5 | 胴部 |

■石器

| 相観番号 | 登録番号 | 遺構名 | 出土地点 | 出土層位 | 種類 | 計測値 | | | | 備考 |
|------|------|--------|---------|---------|--------|--------|-------|--------|-------|-----------|
| | | | | | | 長さ(mm) | 幅(mm) | 厚さ(mm) | 重量(g) | |
| 195 | 001 | 竪穴状 | 6D東半 | 埋土中 | 石錐 | 24 | 11 | 4 | 0.8 | 有茎 |
| 196 | 002 | 竪穴状 | 6D西半 | 埋土中 | 石錐 | 39 | 10 | 5 | 1.5 | 棒状 |
| 197 | 026 | — | 4E | Ⅰ層 | 石錐 | (17) | 9 | 4 | 0.6 | 小型、有茎 |
| 198 | 012 | — | 12B | Ⅱ層 | 石錐 | 22 | 13 | 5 | 1.0 | 有茎 |
| 199 | 022 | — | 6D | Ⅰ層 | 石錐 | 37 | 14 | 5 | 2.1 | 有茎 |
| 200 | 005 | — | 3B | Ⅰ層 | 石錐 | 67 | 22 | 7 | 7.5 | 大型、有茎 |
| 201 | 021 | — | 5D北半 | Ⅱ層 | 石錐 | 23 | 18 | 2 | 0.5 | 凹基 |
| 202 | 029 | — | 4E西側 | Ⅱb層～Ⅲc層 | 石錐 | 17 | 14 | 2 | 0.3 | 凹基 |
| 203 | 013 | — | 13B | Ⅱ層 | 石錐 | 32 | 20 | 8 | 4.2 | 凸基 |
| 204 | 004 | — | 11A | Ⅰ層 | 石錐 | 43 | 17 | 11 | 6.0 | |
| 205 | 019 | — | 4D | Ⅰ層 | 石錐 | 59 | 12 | 9 | 5.8 | 棒状 |
| 206 | 011 | — | 10B | Ⅰ層 | 石錐 | 44 | 13 | 11 | 5.6 | 棒状 |
| 207 | 020 | — | 5D | Ⅱ層 | 石錐 | 23 | 6 | 3 | 0.4 | 小型、有茎(棒状) |
| 208 | 042 | — | 9E | Ⅰ層 | 石錐 | 37 | 26 | 9 | 4.3 | 基部有、小型 |
| 209 | 037 | — | 9C | Ⅰ層 | 石錐 | 39 | 21 | 12 | 6.2 | 基部有、小型 |
| 210 | 035 | — | 2B | Ⅱ層 | 石錐 | (45) | 17 | 11 | 4.0 | 基部有 |
| 211 | 038 | — | 4E西半 | Ⅲ層上位 | 石錐 | 45 | 23 | 12 | 10.9 | |
| 212 | 033 | — | 4E西半 | Ⅲ層上位 | 石錐 | 94 | 31 | 13 | 25.4 | 大型、碗型 |
| 213 | 025 | — | 6D | Ⅰ層 | 両面調整石器 | 31 | 17 | 5 | 2.7 | |
| 214 | 115 | — | 5D | Ⅱ層 | 磨製石斧 | 175 | 58 | 33 | 560.0 | |
| 215 | 114 | — | 5C | Ⅱ層 | 磨製石斧 | 104 | 48 | 27 | 173.9 | |
| 216 | 113 | — | 5C | Ⅰ層 | 磨製石斧 | 104 | 67 | 41 | 435.0 | |
| 217 | 109 | 竪穴状 | 6D東半 | 埋土下位 | 磨製石斧 | 84 | 40 | 35 | 223.0 | |
| 218 | 139 | — | 13A | Ⅰ層 | 石錐 | 59 | 50 | 14 | 55.0 | |
| 219 | 143 | — | 4D | Ⅰ層 | 両面調整石器 | 70 | 51 | 12 | 52.3 | |
| 220 | 142 | — | 5D北半 | Ⅱa層 | 敲打磨石 | 155 | 59 | 22 | 281.0 | |
| 221 | 120 | — | 3C | Ⅰ層 | 打製石斧 | 159 | 70 | 35 | 584.4 | |
| 222 | 124 | — | 4B | Ⅰ層 | 石錐 | 174 | 117 | 35 | 800.0 | |
| 223 | 137 | — | 6D | Ⅰ層～Ⅱ層 | 結石 | 133 | 99 | 37 | 660.0 | |
| — | 003 | 竪穴状 | 6D西半 | 貼床 | 石錐 | 22 | 14 | 4 | 1.0 | 有茎 |
| — | 006 | — | 4B | Ⅱ層 | 石錐 | 24 | 15 | 4 | 1.4 | 有茎 |
| — | 007 | — | 6B | Ⅰ層 | 石錐 | 27 | 13 | 4 | 2.0 | 有茎 |
| — | 008 | — | 9B | Ⅰ層 | 石錐 | 25 | 13 | 7 | 1.8 | |
| — | 009 | — | 10B | Ⅰ層 | 石錐 | 25 | 14 | 4 | 0.9 | 有茎 |
| — | 010 | — | 10B | Ⅰ層 | 石錐 | 25 | 17 | 5 | 1.6 | 有茎 |
| — | 014 | — | 6C | Ⅰ層 | 石錐 | 17 | 10 | 3 | 0.5 | 基部欠損 |
| — | 015 | — | 9C | Ⅰ層 | 石錐 | 41 | 24 | 9 | 7.6 | |
| — | 016 | — | 13C | Ⅰ層 | 石錐 | 34 | 14 | 6 | 4.0 | 有茎 |
| — | 017 | — | 13C | Ⅱ層 | 石錐 | 25 | 10 | 5 | 1.0 | 有茎 |
| — | 018 | — | 2D | Ⅰ層～Ⅱ層 | 石錐 | 38 | 12 | 11 | 5.0 | |
| — | 023 | — | 6D | Ⅰ層 | 石錐 | 34 | 20 | 8 | 5.0 | |
| — | 024 | — | 6D | Ⅰ層 | 石錐 | 25 | 11 | 6 | 1.1 | 有茎 |
| — | 026 | — | 9D | Ⅰ層 | 石錐 | 28 | 16 | 4 | 1.8 | 有茎 |
| — | 027 | — | 12D | Ⅰ層 | 石錐 | 27 | 17 | 7 | 3.1 | |
| — | 030 | — | 5E | Ⅰ層～Ⅱ層 | 石錐 | 29 | 14 | 5 | 2.3 | |
| — | 031 | — | 12E | Ⅱ層 | 石錐 | 24 | 13 | 4 | 1.0 | 基部欠損 |
| — | 032 | — | 試掘トレンチ1 | Ⅱ層 | 石錐 | 20 | 16 | 6 | 1.5 | 凹基 |
| — | 034 | — | 5D | Ⅰ層 | 石錐 | 51 | 44 | 16 | 21.9 | 大型、碗型 |
| — | 036 | — | 9B | Ⅰ層 | 石錐 | 21 | 10 | 5 | 0.8 | 基部有、小型 |
| — | 039 | — | 4E | Ⅱ層 | 石錐 | 34 | 13 | 7 | 2.7 | |
| — | 040 | — | 5E | Ⅱ層～Ⅲ層 | 石錐 | 25 | 13 | 8 | 1.5 | |
| — | 041 | — | 9E | Ⅰ層 | 石錐 | 25 | 17 | 8 | 2.3 | 基部有 |
| — | 043 | — | 6D | Ⅱ層 | 石錐 | 51 | 37 | 11 | 10.0 | 碗型 |
| — | 044 | 竪穴状 | 6D | 貼床 | 不定形 | 25 | 13 | 5 | 1.0 | |
| — | 045 | 1号竪穴住居 | 13C東半 | 埋土 | 不定形 | 55 | 37 | 19 | 33.0 | |
| — | 046 | 1号竪穴住居 | 13C西南 | 埋土上位 | 不定形 | 49 | 33 | 12 | 19.0 | |
| — | 047 | — | 6A | Ⅰ層 | 不定形 | 43 | 22 | 10 | 9.0 | |
| — | 048 | — | 6A | Ⅰ層 | 不定形 | 43 | 38 | 11 | 22.0 | |
| — | 049 | — | 6A | Ⅲ層上位 | 不定形 | 79 | 49 | 19 | 58.0 | |
| — | 050 | — | 6A | Ⅱ層 | 不定形 | 23 | 21 | 6 | 2.0 | |

■石器

| 相観番号 | 登録番号 | 遺構名 | 出土地点 | 出土層位 | 種類 | 計測値 | | | | 備考 |
|------|------|-----|-------|----------|------|---------|--------|---------|--------|----------|
| | | | | | | 長さ (mm) | 幅 (mm) | 厚さ (mm) | 重量 (g) | |
| -- | 051 | -- | 13A | II層 | 不定形 | 42 | 31 | 27 | 33.0 | |
| -- | 052 | -- | 4B | I層~II層 | 不定形 | 47 | 31 | 13 | 19.0 | |
| -- | 053 | -- | 4B | II層 | 不定形 | 31 | 19 | 8 | 4.0 | |
| -- | 054 | -- | 6B | -- | 不定形 | 53 | 34 | 11 | 20.0 | 風倒木 (北側) |
| -- | 055 | -- | 6B | -- | 不定形 | 81 | 39 | 15 | 39.0 | 風倒木 (北側) |
| -- | 056 | -- | 8B | I層 | 不定形 | 43 | 31 | 10 | 12.0 | |
| -- | 057 | -- | 9B | I層 | 不定形 | 42 | 18 | 6 | 4.0 | |
| -- | 058 | -- | 10B | I層 | 不定形 | 62 | 51 | 30 | 112.0 | |
| -- | 059 | -- | 10B | I層 | 不定形 | 15 | 16 | 3 | 0.6 | |
| -- | 060 | -- | 12B | II層 | 不定形 | 42 | 34 | 13 | 15.0 | |
| -- | 061 | -- | 13B | I層 | 不定形 | 33 | 27 | 7 | 4.9 | |
| -- | 062 | -- | 13B | I層 | 不定形 | 40 | 30 | 17 | 20.1 | |
| -- | 063 | -- | 13B | II層 | 不定形 | 52 | 36 | 11 | 17.8 | |
| -- | 064 | -- | 13B | II層 | 不定形 | 43 | 39 | 12 | 16.2 | |
| -- | 065 | -- | 13B | II層 | 不定形 | 46 | 29 | 14 | 17.3 | |
| -- | 066 | -- | 2C | I層~II層 | 不定形 | 29 | 26 | 13 | 12.5 | |
| -- | 067 | -- | 2C | II層 | 不定形 | 23 | 19 | 6 | 3.2 | |
| -- | 068 | -- | 4C | II層 | 不定形 | 67 | 48 | 15 | 36.0 | |
| -- | 069 | -- | 5C | II層 | 不定形 | 39 | 35 | 13 | 16.9 | |
| -- | 070 | -- | 6C | I層 | 不定形 | 33 | 22 | 9 | 5.3 | |
| -- | 071 | -- | 6C | I層~II層 | 不定形 | 57 | 31 | 25 | 35.5 | |
| -- | 072 | -- | 12C | I層 | 不定形 | 41 | 36 | 11 | 13.1 | |
| -- | 073 | -- | 12C | I層 | 不定形 | 63 | 35 | 15 | 27.1 | |
| -- | 074 | -- | 13C | I層 | 不定形 | 26 | 19 | 7 | 3.0 | |
| -- | 075 | -- | 4D | I層 | 不定形 | 42 | 25 | 12 | 10.9 | |
| -- | 076 | -- | 4D | II層 | 不定形 | 28 | 32 | 7 | 4.6 | |
| -- | 077 | -- | 4D | II層 | 不定形 | 32 | 31 | 11 | 8.8 | |
| -- | 078 | -- | 4D | II層 | 不定形 | 50 | 42 | 12 | 24.5 | |
| -- | 079 | -- | 4D | II層 | 不定形 | 26 | 18 | 7 | 2.5 | |
| -- | 080 | -- | 4D | II層 | 不定形 | 23 | 13 | 7 | 1.8 | |
| -- | 081 | -- | 4D | II層 | 不定形 | 85 | 66 | 27 | 93.7 | |
| -- | 082 | -- | 4D | II層 | 不定形 | 55 | 40 | 11 | 20.7 | |
| -- | 083 | -- | 5D | II層 | 不定形 | 47 | 46 | 13 | 22.1 | |
| -- | 084 | -- | 5D | II層 | 不定形 | 58 | 35 | 13 | 21.4 | |
| -- | 085 | -- | 6D | I層 | 不定形 | 21 | 19 | 5 | 1.5 | |
| -- | 086 | -- | 6D | I層~II層 | 不定形 | 44 | 43 | 10 | 18.0 | |
| -- | 087 | -- | 7D | I層 | 不定形 | 24 | 9 | 5 | 1.1 | |
| -- | 088 | -- | 7D | I層~II層 | 不定形 | 87 | 44 | 17 | 53.8 | |
| -- | 089 | -- | 12D | II層 | 不定形 | 49 | 36 | 7 | 9.5 | |
| -- | 090 | -- | 13D | I層 | 不定形 | 60 | 80 | 24 | 68.7 | |
| -- | 091 | -- | 4E | I層 | 不定形 | 36 | 18 | 7 | 4.7 | |
| -- | 092 | -- | 4E | I層 | 不定形 | 45 | 24 | 8 | 7.9 | |
| -- | 093 | -- | 4E | II層 | 不定形 | 37 | 29 | 9 | 7.9 | |
| -- | 094 | -- | 4E | II層 | 不定形 | 53 | 52 | 14 | 36.2 | |
| -- | 095 | -- | 4E | II層 | 不定形 | 93 | 51 | 21 | 86.3 | |
| -- | 096 | -- | 4E | II層~III層 | 不定形 | 70 | 44 | 12 | 37.9 | |
| -- | 097 | -- | 5E | II層 | 不定形 | 52 | 12 | 10 | 6.4 | |
| -- | 098 | -- | 6E | I層~II層 | 不定形 | 20 | 21 | 3 | 1.1 | |
| -- | 099 | -- | 6E | I層~II層 | 不定形 | 43 | 24 | 12 | 11.2 | |
| -- | 100 | -- | 9E | I層 | 不定形 | 25 | 19 | 9 | 3.9 | |
| -- | 101 | -- | 9E | I層 | 不定形 | 29 | 17 | 10 | 4.4 | |
| -- | 102 | -- | 9E | I層 | 不定形 | 46 | 26 | 14 | 18.0 | |
| -- | 103 | -- | 10E | I層~II層 | 不定形 | 36 | 18 | 9 | 4.9 | |
| -- | 104 | -- | 11E | I層 | 不定形 | 35 | 36 | 13 | 15.3 | |
| -- | 105 | -- | 11E | I層 | 不定形 | 57 | 52 | 12 | 30.7 | |
| -- | 106 | -- | 11E | I層 | 不定形 | 51 | 22 | 12 | 11.8 | |
| -- | 107 | -- | 13E | II層 | 不定形 | 44 | 27 | 10 | 10.1 | |
| -- | 108 | -- | 13D西平 | I層~II層 | 不定形 | 35 | 22 | 9 | 5.1 | |
| -- | 110 | -- | 13A | II層 | 磨製石斧 | 102 | 56 | 40 | 364.0 | |
| -- | 111 | -- | 2B | II層 | 磨製石斧 | 33 | 26 | 21 | 25.3 | |
| -- | 112 | -- | 13B | II層 | 磨製石斧 | 47 | 32 | 15 | 25.2 | |
| -- | 116 | -- | 4E | II層 | 磨製石斧 | 115 | 49 | 24 | 149.2 | |
| -- | 117 | -- | 4E | II層~III層 | 磨製石斧 | 143 | 64 | 42 | 600.0 | |
| -- | 119 | 鬚穴状 | 6D東平 | 埋土上位 | 打製石斧 | 77 | 50 | 26 | 116.5 | |
| -- | 121 | -- | 5D | II層 | 打製石斧 | 87 | 73 | 17 | 131.2 | |
| -- | 122 | -- | 4E | II層 | 打製石斧 | 88 | 78 | 18 | 166.6 | |
| -- | 123 | -- | 2A | I層~II層 | 磨製石斧 | 50 | 37 | 26 | 48.4 | |
| -- | 125 | 鬚穴状 | 6D東平 | 埋土中位 | 礫石 | 128 | 88 | 26 | 245.4 | 未成品 |
| -- | 126 | -- | 4B | II層 | 磨石 | 122 | 62 | 36 | 353.0 | |
| -- | 127 | -- | 5D | II層 | 磨石 | 124 | 68 | 36 | 374.0 | |
| -- | 128 | -- | 13D西平 | I層~II層 | 磨石 | 88 | 53 | 39 | 215.5 | |
| -- | 129 | -- | 2B | II層 | 特殊磨石 | 104 | 62 | 52 | 630.0 | |
| -- | 130 | -- | 4B | II層 | 特殊磨石 | 79 | 49 | 27 | 152.1 | |
| -- | 131 | -- | 4Bベルト | I層~II層 | 特殊磨石 | 178 | 89 | 60 | 1400.0 | |
| -- | 132 | -- | 4C | II層 | 特殊磨石 | 116 | 37 | 28 | 195.8 | |
| -- | 133 | -- | 7C | I層 | 特殊磨石 | 140 | 50 | 34 | 328.0 | |
| -- | 134 | -- | 4D | II層 | 石皿 | 93 | 74 | 42 | 221.1 | |
| -- | 135 | -- | 4B | II層 | 台石 | 226 | 208 | 67 | 3050.0 | |
| -- | 136 | 鬚穴状 | 6D東平 | 埋土下位 | 礫石 | 34 | 33 | 8 | 10.1 | |
| -- | 138 | -- | 4E | II層 | 礫石 | 156 | 55 | 39 | 474.0 | |
| -- | 140 | 鬚穴状 | 6D東平 | 埋土上位 | 礫石 | 63 | 49 | 18 | 58.6 | |
| -- | 141 | -- | 7B | -- | 礫石 | 70 | 50 | 12 | 59.1 | 風倒木 (北側) |

■石製品

| 掲載番号 | 登録番号 | 遺構名 | 出土地点 | 出土層位 | 種類 | 計測値 | | | | 備考 |
|------|------|--------|--------|-------------|----------|---------|--------|---------|--------|----------|
| | | | | | | 長さ (mm) | 幅 (mm) | 厚さ (mm) | 重さ (g) | |
| 224 | 008 | — | 4E | Ⅱ層 | 石棒 | 66 | 29 | 12 | 26.7 | |
| 225 | 006 | — | 4D | Ⅲ a 層 | 石棒状 | 110 | 30 | 22 | 119.0 | |
| 226 | 004 | — | 3A | I層～Ⅱ層 | 石棒状 | 245 | 34 | 29 | 314.4 | |
| 227 | 013 | — | 5D 北東隅 | Ⅲ層上位 | 岩板 | 48 | 43 | 13 | 22.8 | |
| 228 | 015 | — | 4E | Ⅲ層 | 有孔 | 29 | 34 | 14 | 7.2 | |
| 229 | 014 | — | 6B | Ⅱ層 | 有孔 (勾玉状) | 35 | 22 | 12 | 7.6 | |
| 230 | 016 | — | 8D | I層 | 有孔 (垂珠) | 21 | 16 | 3 | 1.7 | |
| 231 | 023 | — | 4B | Ⅲ層 | 石製円盤 | 68 | 63 | 23 | 160.3 | |
| 232 | 027 | — | 5D | Ⅲ層 | 石製円盤 | 80 | 75 | 24 | 205.0 | |
| 233 | 032 | — | 4E | Ⅱ層～Ⅲ層 | 石製円盤 | 55 | 57 | 80 | 34.9 | |
| 234 | 022 | — | 13A | Ⅲ層 | 石製円盤 | 64 | 53 | 12 | 53.4 | |
| 235 | 030 | — | 4E | Ⅲ層 | 石製円盤 | 35 | 34 | 80 | 15.6 | |
| — | 001 | 竪穴状 | 6D | 貼床 | 石棒 | 89 | 27 | 12 | 38.0 | |
| — | 002 | 竪穴状 | 6D | 貼床 | 石棒類 | 37 | 12 | 4 | 2.0 | |
| — | 005 | — | 4D | I層 | 石棒 | 86 | 22 | 10 | 25.0 | |
| — | 007 | — | 6D | I層～Ⅱ層 | 石棒 | 106 | 25 | 15 | 46.0 | |
| — | 009 | — | 4E | Ⅲ層 | 石棒類 | 133 | 38 | 14 | 66.0 | |
| — | 010 | — | 5E | I層～Ⅱ層 | 石棒類 | 46 | 15 | 11 | 11.0 | |
| — | 011 | — | — | I層 | 石棒類 | 72 | 33 | 16 | 50.0 | 表採 |
| — | 012 | — | 4E | Ⅲ層 | 石刀 | 131 | 33 | 7 | 38.0 | |
| — | 017 | — | 4D | Ⅱ層～Ⅲ a 層 | 石製円盤 | 72 | 45 | 21 | 100.0 | 4号埋設土器周辺 |
| — | 018 | 竪穴状 | 6D 東半 | 埋土上位 | 石製円盤 | 73 | 62 | 12 | 83.0 | |
| — | 019 | 竪穴状 | 6D 東半 | 埋土 | 石製円盤 | 56 | 55 | 14 | 59.0 | |
| — | 020 | 1号竪穴住居 | 13C 西半 | 埋土 | 石製円盤 | 56 | 50 | 11 | 50.0 | |
| — | 021 | — | 3A | I層～Ⅱ層 | 石製円盤 | 67 | 63 | 14 | 82.0 | |
| — | 024 | — | 4B ベルト | I層～Ⅲ層 | 石製円盤 | 79 | 73 | 22 | 178.0 | |
| — | 025 | — | 4D | Ⅱ層 | 石製円盤 | 54 | 50 | 11 | 37.0 | |
| — | 026 | — | 4D | Ⅲ層 | 石製円盤 | 71 | 63 | 17 | 113.0 | |
| — | 028 | — | 4E | Ⅲ層 | 石製円盤 | 62 | 53 | 12 | 52.0 | |
| — | 029 | — | 4E | Ⅲ層 | 石製円盤 | 54 | 52 | 8 | 27.0 | |
| — | 031 | — | 4E | Ⅲ b 層～Ⅲ c 層 | 石製円盤 | 47 | 45 | 7 | 25.0 | |
| — | 033 | — | 4E | Ⅲ a 層 | 球状 | 49 | 38 | 31 | 34.0 | 網沈線 |

■土師器・須恵器

| 掲載番号 | 登録番号 | 遺構名 | 出土地点 | 出土層位 | 種類 | 器種 | 部位 | 計測値 | | | 器面調整等 | | | 備考 |
|------|------|--------|--------|-----------|-----|----|-----|---------|---------|---------|--------------|--------------|------|----|
| | | | | | | | | 口径 (mm) | 底径 (mm) | 器高 (mm) | 外面 | 内面 | 底部 | |
| 236 | 001 | 1号竪穴住居 | 13C 東半 | 埋土 | 土師器 | 坏 | — | (110) | — | (37) | ロクロナデ | ロクロナデ | — | |
| 237 | 003 | 1号竪穴住居 | 13C | Ⅱ層 | 土師器 | 坏 | 底部 | — | (55) | (15) | ロクロナデ | ロクロナデ | 回転糸切 | |
| 238 | 004 | 1号竪穴住居 | 13C | 埋土上位 | 土師器 | 坏 | 底部 | — | (55) | (18) | ロクロナデ | ロクロナデ | — | |
| 239 | 002 | 1号竪穴住居 | 13C | 埋土 | 土師器 | 坏 | 底部 | — | (50) | (15) | ロクロナデ | 内黒ミガキ | — | |
| 240 | 005 | 2号竪穴住居 | 11B | 埋戻土 | 土師器 | 坏 | 底部 | — | (60) | (22) | ロクロナデ | 内黒ミガキ | — | |
| 241 | 011 | — | 13C | I層 | 土師器 | 坏 | 口縁部 | — | — | (39) | ロクロナデ | 内黒ミガキ | — | |
| 242 | 010 | — | 13A | Ⅲ層 | 土師器 | 坏 | 底部 | — | (60) | (21) | ロクロナデ | 内黒ミガキ | — | |
| 243 | 013 | — | 5E | Ⅱ層～Ⅲ層 | 土師器 | 坏 | 底部 | — | — | (32) | ロクロナデ | 内黒ミガキ | — | |
| 244 | 014 | — | 5E | Ⅲ層 | 土師器 | 甕 | 口縁部 | — | — | (45) | 「ヨリ」 「ヨリ」 | 「ヨリ」 「ヨリ」 | — | |
| 245 | 007 | — | 9A | Ⅲ層 | 土師器 | 甕 | — | — | — | (61) | ヘラナデ | ヘラナデ | — | |
| 246 | 012 | — | 5E | Ⅲ層 | 土師器 | 甕 | — | — | — | (55) | ヘラケズリ | ヘラナデ | — | |
| 247 | 008 | — | 9A 南半 | 覆瓦 (須路御溝) | 土師器 | 甕 | 底部 | — | (94) | (17) | — | — | 木葉痕 | |
| 248 | 009 | — | 9A 南半 | 覆瓦 (須路御溝) | 土師器 | 甕 | 底部 | — | (100) | (30) | ヘラケズリ | ヘラナデ | — | |
| 249 | 017 | — | 6B | I層 | 須恵器 | 坏 | 口縁部 | — | — | (29) | ロクロナデ | ロクロナデ | 回転糸切 | |
| 250 | 018 | — | 6B | I層～Ⅱ層 | 須恵器 | 坏 | 底部 | — | (50) | (16) | ロクロナデ | ロクロナデ | 回転糸切 | |
| 251 | 019 | — | 6B | I層 | 須恵器 | 坏 | 底部 | — | (50) | (9) | ロクロナデ | ロクロナデ | 回転糸切 | |
| 252 | 020 | — | 13B | Ⅱ層 | 須恵器 | 瓶 | 底部 | — | (90) | (36) | ヘラケズリ | ヘラナデ | — | |
| 253 | 022 | — | 6E | — | 須恵器 | 大甕 | — | — | — | (39) | 平行タタキ | — | — | |

V. まとめ

不動Ⅰ・Ⅱ遺跡では、平成7年度より12年度まで花巻市教育委員会により継続して実施された不動上諏訪地区土地区画整理事業に係る一連の発掘調査（報告書7冊既刊）が行われたことで、一帯が市内でも有数の縄文・古代・近世にかけての複合遺跡であることが明らかにされた。特に、不動Ⅰ遺跡東半の北側緩斜面部では縄文時代晩期の埋設土器や炉跡、遺物包含層が広がっており、南半には平安時代の集落跡が広がることが予想されたこと、一方、東側に隣接する不動Ⅱ遺跡においては平安時代の拠点的で大きな集落跡が広がっていたことが判明しており、両遺跡の特色が浮き彫りになった貴重な調査成果といえる。

一方、今回の調査成果としては、前述のように遺跡内において時代ごとの占地形態に明らかな違いが認められる点を改めて証明する結果となった。以下には、今回検出した遺構と出土した遺物についてわかった点を述べる。

〔遺構について〕

- ①縄文時代後期の遺物が若干出土しているが、遺構は見つかっていない。
- ②縄文時代晩期の埋設土器遺構群が、今回の調査区を含む北側の緩斜面移行部分を中心に東西方向に帯状に広がっている可能性が強まった。（不動Ⅱ遺跡第14次調査（平成10年度実施）成果を参照）
- ③東方の不動Ⅱ遺跡より展開する平安時代の大きな集落跡が、北側斜面部を除き、より西方域へと広がっている。
- ④江戸時代以降の屋敷建物跡が重複しており、現代につながる不動地区の先人の足跡を示している。

〔遺物について〕

①縄文土器

遺物包含層を中心に縄文時代後期～晩期にかけての土器（破片が大部分）を多く出土しており、主体となるのは縄文時代晩期（大洞B・BC・C1・C2・A式）の土器である。中でも大洞BC～C2式にかけての土器が多くみられる。なお、注口土器には大洞B・BC式期といった古手のものが一定量以上含まれている。

②石器

剥片石器では有基石鏃や石鏃及びスクレイパー類（不定形石器）、礮石器では磨製石斧が割合多くみられる傾向にあるが、土器に比して全体的に出土量は少ない。出土したものの多くは、遺構外出土のもので土器との伴関係が不明なものが多いが、その多くは縄文時代晩期に属するものとみられる。

③土製品・石製品

土製品では、遮光器土偶及び亀形土製品といった縄文時代晩期の祭祀に関わる遺物が数点出土していること。前者には、古手（大洞B・BC式期）のものが多い。

石製品では、石棒類及び岩板といった祭祀関連の遺物が少量出土している。

土製品・石製品ともに円盤状を呈するものが一定数出土しているほか、土塗耳栓や有孔の垂飾品といった祭祀もしくは服飾に関わる遺物も少量みられる。

土製品・石製品においても、石器と同様に遺構外出土のものが多く詳細は不明ではあるが、ほとんどは縄文時代晩期に属するものとみられる。

〔主要参考文献〕

- ・昆野靖・石川長喜「花巻市桜町窯出土の陶磁器」『紀要V』（1985.3（財）岩手県埋蔵文化財センター）
- ・「平成2年度 花巻市内遺跡詳細分布調査報告書（花巻地区）」（1991.3 花巻市教育委員会）
- ・鈴木克彦「注口土器の研究」『研究紀要 第2号』（1997.3 青森県埋蔵文化財調査センター）
- ・「花巻市埋蔵文化財発掘調査報告書第2集 不動Ⅱ遺跡（第14次発掘調査報告書 不動上諏訪地区土地区画整理事業関連発掘調査報告書V）」（2007.3 花巻市教育委員会）
- ・酒井宗孝・小原茂「花巻城」について－『若狭屋文書』と『覚書』からの検討』『花巻市博物館研究紀要 第3号』（2007.3 花巻市博物館）
- ・「花巻市埋蔵文化財発掘調査報告書第8集 不動Ⅰ遺跡（第6～8次発掘調査報告書 不動上諏訪地区土地区画整理事業関連発掘調査報告書VI）」（2009.3 花巻市教育委員会）
- ・三浦歌子・関根達人「資料紹介 窟跡採集資料からみた花巻城」『花巻市博物館研究紀要 第6号』（2010.3 花巻市博物館）
- ・成田滋彦「亀形土器（上）－乳房をもつ亀は存在するのか」『研究紀要 第21号』（2016.3 青森県埋蔵文化財調査センター）
- ・成田滋彦「亀形土器（下）」『研究紀要 第22号』（2017.3 青森県埋蔵文化財調査センター）



調査区北半 全景（北西から）



埋設土器群(40グリッド付近) 出土状況(南から)



1号(右)・2号(左)埋設土器 断面(南から)



3号埋設土器 断面(東から)

写真図版1 埋設土器(1)ほか



4号埋設土器 断面(東から)



5号埋設土器 断面(西から)



7号埋設土器 断面(西から)



8号埋設土器 検出状況(南から)



9号埋設土器 断面(西から)



40~50グリッド付近No.87土器 出土状況(南から)



2Dグリッド北西部 耳栓No.184 出土状況(西から)



2Eグリッド北半皿層土器 出土状況(西から)

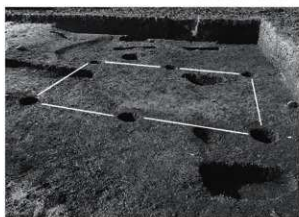
写真図版2 埋設土器(2)・遺物出土状況



竪穴状遺構 全体検出状況（南東から）



竪穴状遺構 完掘状況【防床除去後】（北から）



掘立柱建物跡 全景（東から）



p20 掘立柱建物跡 断面（南から）

写真図版 3 竪穴状遺構・掘立柱建物跡



土坑 全景 (東から)



土坑 断面 (南から)



1号竪穴住居跡 全景 (西から)



1号竪穴住居跡 南北ベルト断面 (東から)



2号竪穴住居跡 カマド・軸 断割り状況 (北から)



88 グリッド p2 断面 (西から)

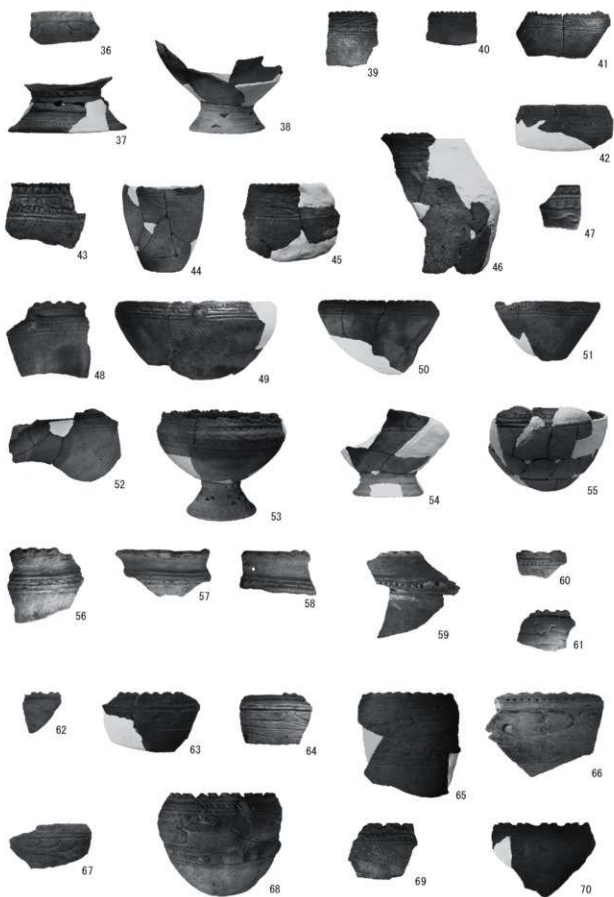


88・96 グリッド付近柱穴群 (北から)

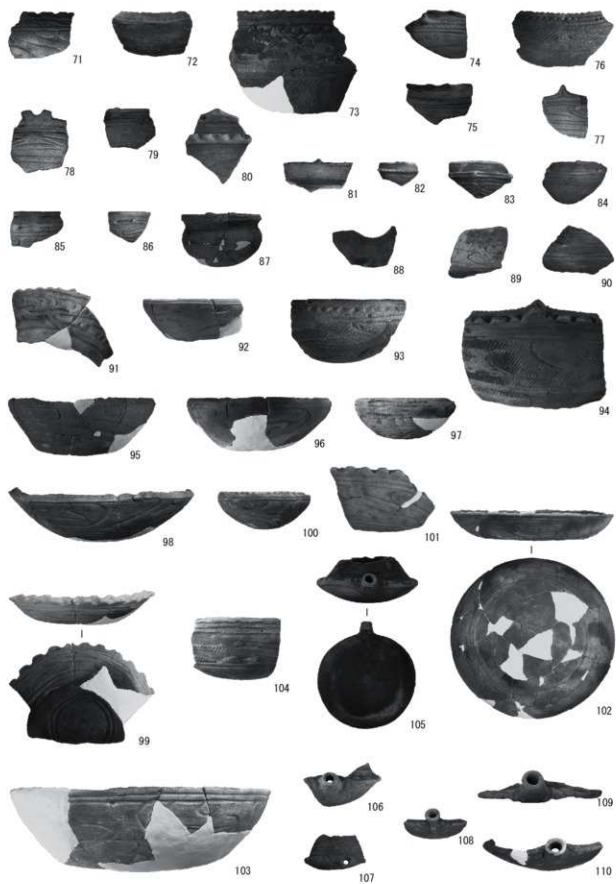
写真図版 4 土坑・竪穴住居跡・柱穴群



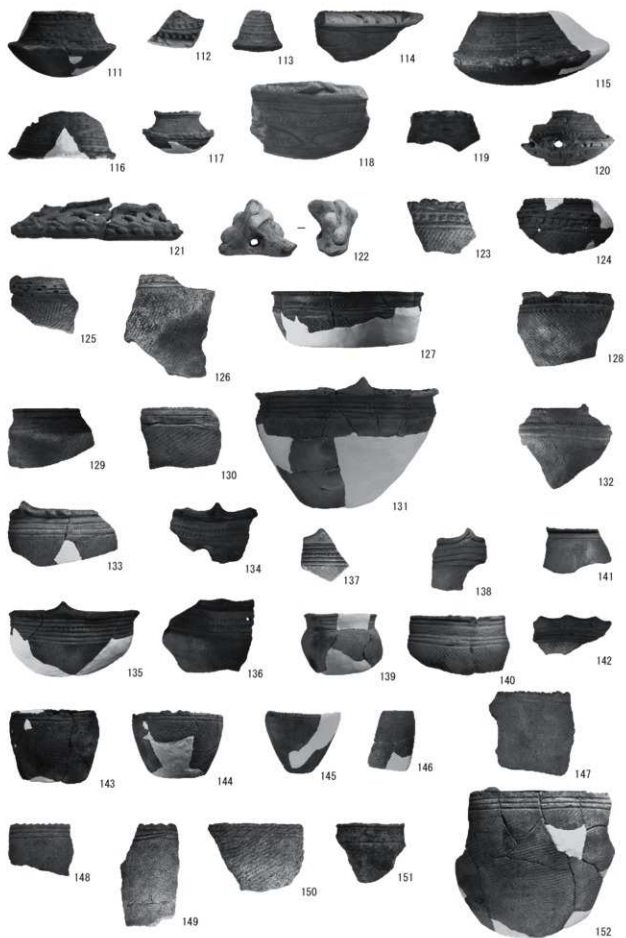
写真図版 5 出土遺物 (1) 埋設土器・竪穴状遺構出土土器ほか



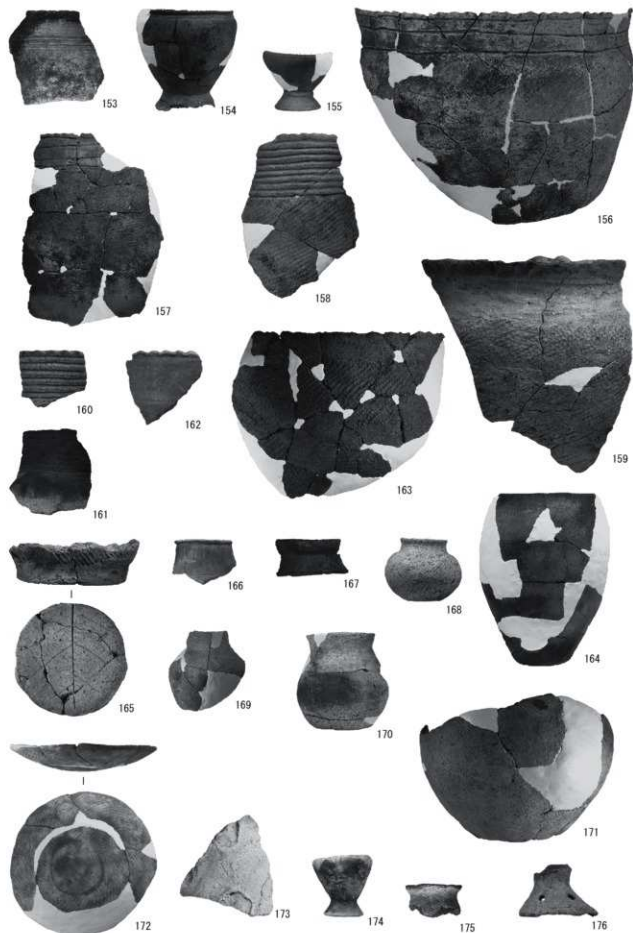
写真図版 6 出土遺物 (2) 遺構外出土土器



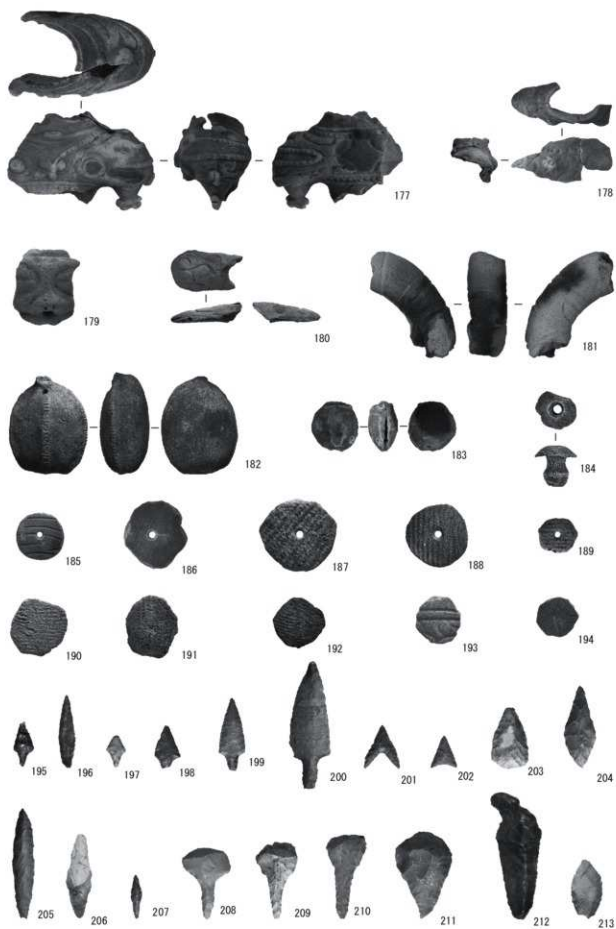
写真図版7 出土遺物(3) 遺構外出土土器



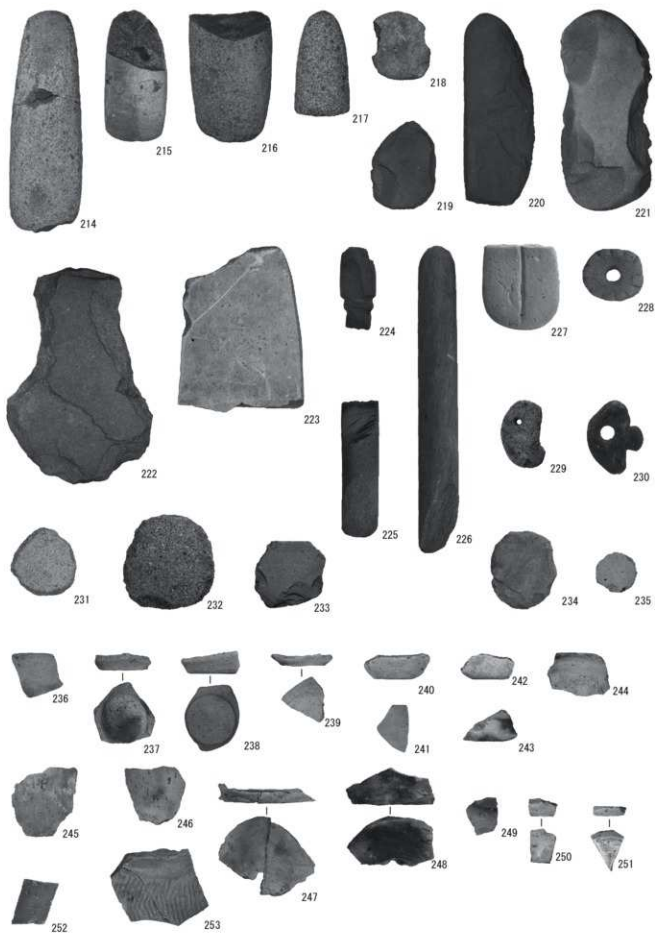
写真图版 8 出土遺物 (4) 遺構外出土土器



写真図版 9 出土遺物 (5) 遺構外出土土器



写真図版 10 出土遺物 (6) 土製品・剝片石器



写真図版 11 出土遺物 (7) 礫石器・石製品・古代土器

報告書抄録

| | |
|--------|---|
| ふりがな | ちんたいじゅうたくけんせつつかんれんいせき はつかつちようさ ほうこくよ へいせい28ねんどちようさ ふどういせき |
| 書名 | 賃貸住宅建設関連遺跡発掘調査報告書 平成28年度調査 不動産I遺跡 |
| 副書名 | |
| シリーズ名 | 花巻市埋蔵文化財発掘調査報告書 |
| シリーズ番号 | 第23集 |
| 編著者名 | 酒井宗孝・橋本征也・菊池賢 |
| 遺物実測図 | 川井久美子・菅原富貴子 |
| 遺物写真撮影 | 高橋 純・吉田宗平 |
| 遺物写真編集 | 高橋 純・吉田宗平 |
| 編集機関 | 花巻市教育委員会 文化財課 |
| 所在地 | 〒028-3163 岩手県花巻市石鳥谷町八幡4-161 電話 0198-45-1311 |
| 発行年月日 | 平成30年(2018)3月16日 |

| 所取遺跡 | ふりがな | コード | | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
|--------|--------------------------------|--------|---------------|-------------------|-------------------|---------------------------|---------|------------|
| | | 所在地 | 市町村 | | | | | |
| 不動産I遺跡 | 花巻市 不動産I遺跡 不動町二丁目 7-1 | 032051 | ME36- 0040 | 39度 22分 37秒 | 141度 6分 33秒 | 2016年 9月12日～ 11月30日 | 866.75㎡ | 賃貸住宅 建設 |
| 所取遺跡 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | | | | |
| 不動産I遺跡 | 集落跡 | 縄文・古代 | 竪穴住居跡 埋設土器 | 縄文土器（後、晩期）、石器、土師器 | | | | |

要 約

| | |
|--------|---|
| 不動産I遺跡 | 縄文時代晩期の埋設土器9基や竪穴状遺構1棟、縄文時代後期～晩期にかけての遺物包含層、平安時代の竪穴住居跡2棟（うち1棟は平成2年度調査のもの）、近世以降の柱穴群ほかを検出した。豊沢川に面した北側緩斜面への移行部分に埋設土器群が分布する様相が確認され、縄文晩期中心の包含層からは大洞BC～C1～C2～A式期にかけて多くの土器や土偶・亀形土製品・朱塗りの耳栓ほか遺物が出土した。 |
|--------|---|

花巻市埋蔵文化財発掘調査報告書 第23集

賃貸住宅建設関連遺跡発掘調査報告書

平成28年度調査

不動産I遺跡

平成30年3月16日

発行 花巻市教育委員会 教育長 佐藤 勝

〒028-3163 岩手県花巻市石鳥谷町八幡4-161

TEL (0198) 45-1311 FAX (0198) 45-1322

印刷 川嶋印刷株式会社

〒021-0822 岩手県一関市上大槻街3-11

TEL (0191) 46-4161